

令和 6 年度

社会福祉法人小坂町社会福祉協議会

事 業 報 告 書

## 目 次

1	全体総括	1
2	基本目標ごとの総括	1
3	事業内容	
	基本目標 1：まるごと支援体制の充実	4
	基本目標 2：横断的課題解決に向けた取り組みの推進	7
	基本目標 3：持続可能なサービス提供と支援体制の確保	20
	基本目標 4：地域福祉を担う人や仕組みづくりの推進	32
	基本目標 5：社会福祉協議会の果たす役割及び使命達成と組織・経営基盤の強化	34
4	会議・研修等	44

# 令和6年度 事業報告

## 1 全体総括

「健やかに自分らしく、支え合いながら共に生きるまち」を目指した今期の地域福祉活動計画（6か年計画）の初年度を終えました。

強化を進めていた訪問活動については、独自活動である「福祉座談会」を再開し、38自治会で延べ386人の方々と対話することができました。今後も開催を続けながら、住民の声に耳を傾け、心配ごとや課題の解決につながるように、また、幸せを感じる暮らし方ができるような取り組みにつなげていきます。

長年活動が停滞していた福祉教育とボランティア育成の分野では、児童生徒に向けては学校等との連携で福祉授業を行い、車いす体験と認知症サポーター養成講座を行いました。また、地域住民に向けては、子ども未来応援事業の一環で「多機能・多目的食堂を通じた地域とのつながり」をテーマに研修会を行いました。また、ボランティア活動では、子どもの居場所事業「kitchen いちごいちえ」「いちご塾」で多くの中学生が活動しています。

一方、町と社協の生活支援コーディネーターと一緒に各自治会を巡回する「地域見守りネットワーク情報交換会」や、災害時の体制及び対応の強化、ボランティア養成などの人材育成など未実施となった事業・活動もあり、それらについては検証をして、進捗の挽回に向けた対策が必要と考えます。

また、介護保険事業の安定化では、昨年度に引き続き非常に厳しい経営状況でした。新たな加算の取得や、営業時間の延長、利用の促進などできる限りの対策を講じましたが、近年続いている物価高騰、働き手の不足、最低賃金の上昇などに加えて利用者の減少が進み、一年を通じた経営の見通しが難しいのが現実でした。結果としては事業継続に向けて、令和7年度から、デイサービスゆーとりあの事業形態を地域密着型に変更することを決めました。

これからも、社会福祉協議会の役割と使命の遂行に向けて、地域福祉活動計画を基に事業推進に努めます。

## 2 基本目標ごとの総括

### 《基本目標1：まるごと支援体制の充実》

- 自治会での福祉座談会を通して、社協が「何でも相談窓口」であることの周知と早めの相談を促しました。また、情報共有については、職員間では業務記録を一週間ごとに回覧、関係機関とでは福祉課職員との定例会や地域ケア会議などで行いました。（P6）
- 障害者相談支援事業所では、障害児の新規が多いことが特徴的でした。全体的な相談支援実績も見込み数を大きく上回りました。（P4）

○ 町は重層的支援体制整備事業未実施ですが、複合的な課題を有する世帯については、支援に向けた会議を開催したり、関係機関との情報共有を行ったりしました。(P5)

○ 訪問活動の強化は、個別訪問については、意識づけをして訪問活動(アウトリーチ)と位置付けた訪問件数を可視化しました。地域訪問では自治会ごとに福祉座談会開催を呼びかけ、44自治会中38自治会で開催しました。(P6)

## 《基本目標2：横断的課題解決に向けた取り組みの推進》

○ 5巡目となる「地域見守りネットワーク情報交換会」(自治会訪問)が令和5年12月に1自治会実施後行われていません。その状況もあって、独自活動の「福祉座談会」を再開しなければならないと考えました。情報交換会では、各自治会活動の様子を他の自治会に周知し、助け合いの地域づくりが進んだ経緯から、福祉座談会でも情報提供に努めました。(P7、8～9)

○ 町の新規事業「短期集中お元気パワーアップ事業」では、生活支援コーディネーターを中心に、モデル自治会である中小坂お元氣クラブの活動に出向いて支援を行いました。(P9)

○ 権利擁護の取り組みでは、県社協から受託している「日常生活自立支援事業」において利用者の入所などが相次ぎ、加えて新規利用者が少なく、6年度末で4人の利用となっています。利用促進に向けて、関係者等に制度の周知を行っているものの利用拡充の兆しが見えません。(P10)

○ 現在の地域福祉活動計画は地域福祉計画と一本であり、合わせて小坂町成年後見制度利用促進計画となっていることから、今後の整備に備えて研修や会議への参加を行いました。(P10)

○ 資金貸付事業については、独自の「たすけあい資金」は新規4件の貸付で全て完済しました。県社協の「生活福祉資金」は新規1件で償還は順調です。また、コロナ特例貸付利用者1人が完済し、この貸付の利用者はいなくなりました。(P11)

○ 町受託事業の「子ども未来応援事業」で、引き続き子ども支援サポーターを配置しています。その活動の一環として独自で実施している「子どもの居場所事業」は、参加者の推移は順調で、子ども支援サポーターの周知も進み、具体的な相談が寄せられるようになってきました。ただ、**ひとり親世帯からの相談はあまりありませんでした**。一方、不登校支援の「いちごの実」では3回の実績がありました。(P13～15)

○ 災害時の体制及び対応の強化では、災害発生時や事業の維持継続に向けた関係機関との共通理解などが未実施でした。また、災害ボランティアセンターの設置・運営に関する備えも不十分です。(P17～18)

- 福祉人材の確保では、昨年度に引き続き、町と小坂ふくし会と合同で近隣県の養成学校訪問を計画しましたが、学部廃止や募集停止などにより訪問可能な学校が少なく実施を断念しました。  
(P19)

### 《基本目標 3：持続可能なサービス提供と支援体制の確保》

- 町受託事業はほぼ順調に実施できました。ただ、その中でのニーズ把握の意識づけは課題とされます。地域生活・福祉課題を考える研修会・講座の開催が未実施となった背景を探ることが必要とされます。(P20～32、30)

### 《基本目標 4：地域福祉を担う人や仕組みづくりの推進》

- ボランティア講座などの人材育成や先進地視察などの情報収集、ボランティアセンターの周知については、未実施でした。仕組みづくりが進まない背景を探ることも必要とされます。  
(P32～33)

### 《基本目標 5：社会福祉協議会の果たす役割及び使命達成と組織・経営基盤の強化》

- 正副会長会議を2回、理事会を4回、評議員会を3回、監事会を2回開催し、法人の適切な運営に努めました。(P34～35)
  
- 介護保険事業は、依然として厳しい経営状況が続きました。デイサービスゆーとりあは、一日の利用定員が25人で実績が平均18.6人、心春は一日の利用定員が10人で実績が平均6.1人、くるみは一日の利用定員が10人で実績が平均6人でした。利用者の減少が続いており、これは居宅介護支援事業でも同様です。新たな加算取得や営業時間の延長、利用の促進や業務内容の見直しを行ったものの経営状況は厳しいままです。そのため、デイサービスゆーとりあを通常型から地域密着型へ変更することを検討し、その時期を当初の想定より早めて令和7年4月からとすることとしました。(P39～41)

### 3 事業内容

#### 《基本目標1》まると支援体制の充実

##### (1) “小坂まると”地域包括ケアの推進

###### ①ワンストップで相談できる総合相談窓口体制の充実

###### ●総合相談の窓口●

- ・生活課題等の相談対応<通年> 内部評価：○

内容	実績等
毎日の業務日誌作成と共有	地域福祉班では一週間ごとに日誌を回覧して、早期の情報共有に努めた。

###### ●相談ケースの共有と連携●

- ・職員間の共有・整理・検討<通年> 内部評価：○
- ・関係機関との連携強化<随時> 内部評価：○

内容	実績等
福祉課との定例会 (第2水曜)	出席者：地域福祉班地域福祉推進担当、介護保険班くるみ担当 回数：年12回 4/10、5/8、6/12、7/10、8/7、9/11、10/9、11/20、12/11、1/8、2/12、3/12
障害相談打合せ会 (第2月曜)	出席者：地域福祉班障害者相談支援担当 回数：年12回 4/8、5/13、6/7、7/5、8/2、9/9、10/7、11/11、12/2、1/15、2/3、3/3

###### ●多世代交流拠点での相談機能の充実●

- ・人と人をつなぐ場、語らいの場、出会いの場の拡充<通年> 内部評価：△
- ・悩みや困り事を安心して相談できる環境づくり<通年> 内部評価：△

内容	実績等
町民対象の各居場所の開催	傾聴ボランティアの会「一休さん」による「お茶っこサロン」、若者の居場所「縁」実施。新規の居場所開催はない。
職員常駐による相談体制	職員が交替で常駐。

###### ②相談支援包括化推進による地域包括ケアの推進

###### ●福祉サービス利用に向けた支援●

- ・一般相談支援、特定相談支援、障害児相談支援の実施<通年> 内部評価：○

項目	延べ件数		実人数	備考
	9月末	3月末	3月末	
障害者相談支援	2,190件	4,274件	150人	見込み 3,500件
障害者	1,732件	3,296件	106人	
障害児	435件	906件	26人	
その他	23件	72件	18人	
障害者計画相談	59件	112件	31人	見込み 100件
利用支援	21件	38件	29人	
継続支援	38件	74件	29人	
障害児計画相談	55件	77件	20人	見込み 20件
利用支援	12件	26件	17人	
継続支援	43件	51件	16人	

- ・障害支援区分認定調査の実施<随時> 内部評価：○

項目	延べ件数	
	9月末	3月末
認定調査	15件(新規6件、更新9件)	43件(新規10名、更新33名)
障害者	10件(新規1件、更新9件)	25件(新規3名、更新22名)
障害児	5件(新規5件)	18件(新規7名、更新11名)

- ・複数の課題を抱える対象者や世帯に対する多機関協働による支援の実施<随時> 内部評価：△

内容	実績等
関係機関を招集した個別支援会議の開催	基本目標1-(2)-①を参照

- ・次年度以降の障害者相談支援体制維持のための検討<10月・11月> 内部評価：△

内容	実績等
障害者相談支援の業務内容の整理及び職員減による体制維持の方法について検討	利用者増加に伴う業務量の増加と、それに見合う人員配置について検討

◆障害者虐待防止センター：相談、通報、届出 0件

### ③重層的支援体制整備事業の推進（令和6年度新規）

#### ●重層的支援体制整備の推進●

- ・重層的支援体制整備事業における社協の役割について検討<年度内> 内部評価：○

内容	実績等
町担当課との協議及び検討	令和7年度での事業受託はないことを確認。今後も協議検討を継続。

## (2) 包括的相談・ケアマネジメントの充実

### ①個別ケア会議による本人と家族を支えるケアマネジメントの推進

#### ●包括的な支援●

- ・個別支援会議の開催<随時> 内部評価：△
- ・関係機関との情報共有<随時> 内部評価：○

No.	対象	関係機関
	内容	
1	知的障害、男性、64歳	社協障害相談、町福祉課・建設課、山本地域振興局生活保護担当
	多頭飼育、生活困窮、金銭管理	
2	母：要介護、89歳 娘：精神障害、61歳	本人、娘、親戚、社協障害相談、社協居宅、ヘルパー事業所
	母の介護保険サービスの利用、娘の障害福祉サービスの利用についてのすり合わせ	

- ・課題解決に向けての共通理解・検討<随時> 内部評価：△

内容	実績等
個別支援会議での検討	共通理解や検討までで課題解決には至っていない。

### ②ケアマネジメント機能の充実（職員のスキルアップとケア会議）

#### ●ケアマネジメント強化と効果的支援●

- ・ケアマネジメントを行う職員のスキルアップ<年度内> 内部評価：○

内容	実績等
ケアマネジメントに係る研修等への参加	障害：相談支援専門員初任者研修1人受講

- ・事例検討の機会の充実<随時> 内部評価：×
- ・関係機関との情報共有<随時> 内部評価：○

内容	実績等
定期的な検討会の開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員間での検討は適宜行われているが、定期的開催には至っていない。</li> <li>・月1回の地域ケア会議を通して関係機関との情報共有は図られている。</li> </ul>

- ・地域ケア会議への出席<月1回> 内部評価：○

内容	実績等
毎月第4水曜	年12回（委員6名：デイユ-とりあ生活相談員、デイ心春管理者、居宅介護支援専門員、生活支援コーディネーター、コミュニティソーシャルワーカー、理学療法士）

### ③訪問活動（アウトリーチ）の強化による生活・福祉課題の把握と情報提供

#### ●生活・福祉課題の把握●

- ・事業利用者、要支援者の定期的な訪問活動＜通年＞ 内部評価：△

内容	実績等
事業利用者や要支援者を訪問	地域福祉職員において相談支援を意識した訪問活動を実施。 訪問件数211件

- ・ニーズ把握＜通年＞ 内部評価：○

内容	実績等
訪問時での把握	個別ニーズの整理と今後の対応の確認。

#### ●情報共有と解決に向けた活動●

- ・職員及び関係機関との情報共有と共通理解＜随時＞ 内部評価：○

内容	実績等
・業務記録の回覧 ・地域福祉班スタッフ会議	・迅速な情報共有。 ・ニーズの普遍化と課題解決への共通理解を図る。会議：12回

### ④多機関との横断的な相談支援体制の強化

#### ●多機関連携による相談支援の強化●

- ・多機関と日常的に連携し支援につなげる＜通年＞ 内部評価：○

内容	実績等
福祉課との定例会、地域ケア会議、障害相談打合せへの出席	月1回の定例的な連携のほか、福祉事務所や町の福祉課以外の部局との連携も随時図られている。

### (3) 身近でつながる相談支援の推進

#### ①コミュニティソーシャルワーカー・コーディネーター等による相談機能の強化

#### ●身近な相談支援●

- ・職員間での連携強化（情報共有）＜通年＞ 内部評価：○

内容	実績等
業務記録の毎週回覧	地域福祉班(障がい以外)では1週間単位で記録をまとめ、早期の情報共有に努める。

- ・定期的な訪問活動＜随時＞ 内部評価：△ ・関係機関につなげる＜随時＞ 内部評価：○

内容	実績等
事業利用者を月1回訪問。 相談があった世帯等を随時訪問	月1回の訪問はほぼできたが、目的の再確認が必要。 関係機関につなぐことの機能は果たしている。

- ・スキルアップ研修へ参加＜通年＞ 内部評価：△

内容	実績等
研修（2～3回）	複数職員の参加には至っていない

#### ●地域課題共有の場づくり●

- ・福祉座談会の開催＜随時＞ 内部評価：○

内容	実績等
全自治会での開催	8月以降、自治会長(44自治会)へ周知。 ＜開催＞上半期：9自治会、100人出席 下半期：29自治会、286人出席 年間：38自治会、386人出席（男性159人、女性227人） ・参加者からの意見や要望が聞かれ課題を知ることができている

## ②気軽に相談できる機会の充実

### ●相談機会の拡充●

- ・相談窓口、情報発信の充実<通年> 内部評価：△

内容	実績等
訪問活動による把握	訪問活動は強化している
多世代交流拠点での情報発信	若者支援においては新規相談者とつながったが、居場所を通じた相談機会の拡充には至っていない

- ・ホームページ、SNS の活用<通年> 内部評価：△

内容	実績等
ホームページや SNS を活用した相談機能をつくる	ホームページには、子ども未来応援事業として利用者を限定した相談窓口は開設しているが実績はない。新規機能もなし。

## 【基本目標 2】横断的課題解決への取り組みの推進

### (1) 地域住民による見守り体制の充実

- ①地域住民、民生児童委員、町内事業者、郵便局や宅配業者等による見守り、安否確認活動の推進とネットワークの拡大

### ●地域とのネットワークづくり●

- ・ネットワーク情報交換会（5 巡目）実施<通年> 内部評価：×

内容	実績等
5 巡目対象自治会で開催	町と社協の生活支援コーディネーターが地域の居場所訪問を予定。令和 5 年 1 2 月に 5 巡目を開始したが 6 年度は実績なし。

- ・社会福祉研修大会、福祉セミナー等の開催<通年> 内部評価：△

内容	実績等
社会福祉研修大会	11/3(日) 会場：セパーム 講演「地域の通いの場でフレイル予防を効果的に」 講師：株式会社ビーベリー 健康運動指導士 児玉美幸 氏 参加者数：112人
地域課題解決につながることや支え合い活動事例等をテーマでのセミナー	子ども未来応援事業研修会 期日：2/5(水) 会場：セパーム 講演：テーマ「多機能・多目的食堂を通じた地域とのつながり」 講師：江釣子ども食堂 ひまわり食堂 代表 清水上裕 氏 参加者数：37人

### ●支え合い活動への支援●

- ・自治会に対する支え合い活動への支援(事例提供やマップづくり等)<通年> 内部評価：○

内容	実績等
福祉座談会の開催	社協実施事業の周知を通して事例を提供

- ・関係機関との情報共有の強化<随時> 内部評価：△

内容	実績等
担当者会議の開催 民協定例会への参加	高齢者や障害者支援では担当者会議を開催。民協定例会へは地域福祉班職員が交替で参加(年12回)

## ②コミュニティソーシャルワーカーによる訪問活動の継続・強化

### ●訪問活動の継続・強化●

- ・要支援者の変化の早期発見<通年> 内部評価：△
- ・長期的支援を見通した支援・職員間、関係機関との情報共有・地域の催し物や事業への参加<随時> 内部評価：×

内容	実績等
訪問活動の継続 可能な限り課題解決に至るまで訪問を継続する	事業利用者への定期訪問。 地域の課題解決に向けたかかわり方が不十分であった。

## (2) 地域支え合いの推進

### ①地域における生活・福祉課題の共有の場づくり（福祉座談会・ネットワーク情報交換会等の開催）

#### ●ネットワーク情報交換会（5巡目）●

- ・対象自治会を絞る<通年> 内部評価：×

内容	実績等
対象自治会全部での開催	なし

#### ●福祉座談会の開催●

- ・全自治会及び地区単位<通年> 内部評価：○

内容	実績等
社協事業の周知、質疑応答・意見交換	サービスにつながる相談や、身近な話ができる機会となっている。

<実績>

No.	期日	時間	自治会	場所	参加	備考
1	8月22日(木)	13:00~	北あけぼの	自治会館	10人	
2	8月25日(日)	19:00~	岩 沢	自治会館	28人	定例会時
3	9月 3日(火)	13:30~	一本杉	自治会館	6人	
4	9月 9日(月)	10:30~	尾樽部	ゆうとりあ	5人	
5	9月10日(火)	18:30~	大 地	自治会館	21人	定例会時
6	9月19日(木)	14:00~	東渡ノ羽	自治会館	4人	
7	9月26日(木)	10:00~	南あけぼの	自治会館	9人	
8	9月28日(土)	14:00~	下小坂	自治会館	8人	
9	9月30日(月)	15:30~	成 森	自治会館	9人	
10	10月 8日(火)	11:00~	川通り	自治会館	17人	唐松様直会時
11	10月12日(土)	18:00~	牛馬長根	自治会館	12人	
12	10月15日(火)	18:30~	新花町	自治会館	15人	
13	10月16日(水)	17:00~	藤倉団地	自治会館	8人	
14	10月17日(木)	11:00~	中小坂	自治会館	12人	
15	10月21日(月)	13:30~	永楽町	自治会館	10人	
16	10月22日(火)	10:00~	狐崎	自治会館	8人	
17	11月 5日(火)	13:30~	若葉町	自治会館	10人	
18	11月14日(木)	15:00~	余路米	自治会館	9人	
19	11月17日(日)	10:00~	細越	自治会館	9人	
20	11月19日(火)	15:00~	野口	自治会館	8人	
21	12月 2日(月)	14:00~	鴛	自治会館	12人	
22	12月 4日(水)	15:00~	砂子沢	自治会館	8人	
23	12月20日(金)	18:30~	さくらんぼ	自治会館	7人	共同開催

24	12月20日(金)	18:30~	みどりヶ丘	さくらんぼ自治会館	2人	
25	1月15日(水)	11:00~	大川岱	自治会館	3人	
26	1月15日(水)	14:30~	休平	自治会館	9人	
27	1月31日(金)	18:00~	濁川	川上公民館	8人	川上地区福祉座談会時 濁川の方のみカウント
28	2月2日(日)	10:00~	万谷	自治会館	18人	総会時
29	2月2日(日)	13:00~	藤原	道の駅こさか七滝	11人	
30	2月6日(木)	11:00~	栄町	自治会館	8人	
31	2月9日(日)	15:00~	古苦竹	自治会館	9人	定例会時
32	2月20日(木)	13:00~	上小坂	セパーム	1人	
33	2月27日(木)	18:15~	荒川	自治会館	32人	定例会時
34	3月4日(火)	10:00~	蛭	ゆーとりあ	1人	
35	3月6日(木)	11:15~	つつじ平	自治会館	7人	
36	3月11日(火)	11:30~	鳥越	自治会館	3人	
37	3月11日(火)	14:00~	長沢	自治会長宅	2人	
38	3月16日(日)	9:30~	上川原	自治会館	27人	総会時

## ②地域づくりや支援に関する研修会やセミナーの開催

### ●学びや共有の場の開催●

- ・社会福祉研修大会、福祉セミナー等の開催<通年>

(基本目標2(1)・①の●地域とのネットワークづくり●と同じ)

- ・町主催：健康づくりサポーター研修参加及びサポーター活動の促進(町担当課と共有)<適宜>

内部評価：○

内容	実績等
参加と活動促進に向けた支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康づくりサポーター研修へ参加：R6.9.13、R6.12.9</li> <li>・「小坂町短期集中お元気パワーアップ事業」 支援：R6.4~9月 フォローアップ：6回(10/10、10/17、11/14、11/28、2/13、3/13)</li> </ul>

## (3) 地域の居場所・交流の場の確保

### ①多世代・他分野を問わず地域にある居場所での交流やつながるきっかけづくりの拡充

#### ●居場所の拡充●

- ・世代、性別、障がいの有無を問わず誰でも参加できる新たな交流や生きがいの居場所づくり<通年>

内部評価：△

内容	実績等
交流拠点活動の周知と事業の企画・実施(全町民対象)	交流拠点活動については福祉座談会で周知を図った。事業の企画・実施は未実施。

### ②地域住民の自主活動による利活用の促進

#### ●自治会活動への支援●

- ・活動実践の紹介<通年> 内部評価：○

内容	実績等
情報交換会や福祉座談会開催時に特徴ある自治会を紹介	福祉座談会で周知した。

**(4) 権利擁護支援の推進**

**①人権擁護、権利擁護支援の啓発（令和6年度新規）**

**●権利擁護支援●**

- ・人権擁護、権利擁護支援の理解を深める<年度内> 内部評価：○

内容	実績等
人権擁護、権利擁護、意思決定支援等の研修への参加	参加回数：5回 参加者数：延べ9人、実5人

**②日常生活自立支援事業の利用促進と適切な運営・管理**

**●日常生活自立支援事業●**

- ・住民や専門職への事業の周知・理解促進<通年> 内部評価：△

内容	実績等
利用者や支援者、地域ケア会議や自治会等で周知	住民へは福祉座談会や事業(出前講座)の時に、民生児童委員には民協定例会で、支援者へは地域ケア会議で周知したが、利用者拡大には至っていない。

<実績> 施設入所や死亡が多く、新規が少なく利用者が減少

利用種別	高齢者			知的障害			精神障害			計
	総数	新規	解約	総数	新規	解約	総数	新規	解約	
3月末	6人			3人			0人			9人
5月末	4人		2人	3人			0人			7人
7月末	5人	1人		3人			0人			8人
9月末	3人		2人	3人			0人			6人
10月末	3人			2人		1人	0人			5人
11月末	3人			1人		1人	0人			4人
3月末	3人			1人		2人	0人			4人
計	3人	1人	4人	1人		2人	0人			4人

- ・事業の適切な運営管理（生活支援員との情報共有）<通年> 内部評価：○

内容	実績等
管理者による定期的な管理チェックの実施	支援の都度、実施票や通帳残高などの細部も確認。利用者の生活状況の情報を生活支援員と共有している。

- ・定期的な訪問による利用者の状況確認と支援の充実<通年> 内部評価：○

内容	実績等
月に1回、生活支援員や専門員が利用者を訪問	専門員2人、生活支援員4人。毎月の支援以外に、手持ち現金の残高状況の確認や、施設入所している方の状況について職員を通して確認している。

**③権利擁護支援の地域連携ネットワークづくりの促進（令和6年度新規）**

**●地域連携の促進●**

- ・担当課との協議、検討<年度内> 内部評価：○

内容	実績等
協議・検討	早い段階で、次年度の成年後見制度事業受託はないことを確認して承知している。

- ・利用促進に向けた役割の確認と理解促進<年度内> 内部評価：○

内容	実績等
利用促進地域協議会及び勉強会への参加	・9/5 成年後見制度利用促進実務研修に参加。町と共通認識を図ることができるように準備を進めた。 ・10/4 法人後見受任体制研修会に参加 ・3/22 鹿角市社協成年後見制度利用を考える研修会に参加

**(5) 生活困窮者支援**

**① 包括的相談支援**

● 困窮者支援 ●

- ・ 福祉事務所が行う「生活困窮者自立支援制度」との連携<通年> 内部評価：○

内容	実績等
ケースの連携	連携は取れている。実績：6件

- ・ 生活資金等の貸付や償還に関する事務手続き（生活福祉資金・たすけあい資金）<随時>

内部評価：△

内容	実績等
償還に向けて定期的に督促状を発送	生活福祉資金：6か月に一度、県社協から届く通知を発送 たすけあい資金：6か月毎に発送（最終発送：R6.5月）

<たすけあい資金>

No.	貸付日	貸付額	償還済額	貸付残額	備考
1	H19.5	100,000円	100,000円	0円	R6.5月完済
2	R3.5	10,000円	0円	10,000円	同一世帯：福祉事務所と連携して支援
3	R3.5	30,000円	0円	30,000円	
4	R5.11	100,000円	100,000円	0円	R6.12月完済
5	R5.11	70,000円	70,000円	0円	R6.5月完済
6	R6.4	40,000円	40,000円	0円	新規 R6.5月完済
7	R6.4	50,000円	50,000円	0円	新規 R6.10月完済
8	R6.7	15,000円	15,000円	0円	新規 R6.8月完済
9	R7.2	10,000円	10,000円	0円	R7.3月完済
計		425,000円	385,000円	40,000円	

<秋田県社会福祉協議会 生活福祉資金 貸付状況> R7.3月末現在

資金種別	件数	残額(延滞含)	
教育支援	2件	1,399,795円	1件：順調、1件：延滞利子のみ償還
福祉資金	4件	491,350円	
（福祉費）	（2件）	（343,201円）	1件：順調、1件：延滞利子のみ償還
（緊急小口）	（2件）	（148,149円）	1件：順調、1件：滞納
コロナ特例	1件	0円	完了
計	7件	1,891,145円	

【新規】令和6年8月 緊急小口資金 1件

◆ コロナ特例貸付フォローアップ支援事務

	償還免除・猶予の相談	その他の相談	関係機関等との調整	意見書の作成	その他の支援
前年度		1件	8回		1回
6年度			15回		

**② 生活困窮者等の自立支援の強化**

● 自立に向けた支援 ●

- ・ 訪問活動によるニーズ把握と相談支援<通年> 内部評価：△

内容	実績等
訪問活動	きっかけとしては訪問活動からは少数。資金貸付や別の事業利用からが多い

- ・他機関との情報共有・連携<通年> 内部評価：－

内容	実績等
支援調整会議への参加	会議の開催はないが、担当者レベルでの情報交換は行った。

- ・家計支援や家計管理の支援、生活に関する指導助言<随時> 内部評価：○

内容	実績等
必要に応じた支援や指導助言	相談支援6名。貸付事業や障害相談などでの関りがある方もおり、担当者間で連携している。

<関係機関との情報共有>

No.	対 象	関係機関等
	内 容	
1	独居男性、72歳	本人、北福祉事務所、山本地域振興局生活保護担当
	生活困窮	
2	子育て世帯（夫婦、子ども2人）	町保健センター・地域包括支援センター
	生活困窮、妻の体調不良	
3	要支援者（支援終了者含む）	ハローワーク、北福祉事務所
	近況報告（生活・就労支援状況等）	

●フォローアップ●

- ・利用者へのフォローアップ支援<通年> 内部評価：○

内容	実績等
必要に応じた支援	食糧支援、近況確認、貸付について相談

- ・他制度や事業へのつなぎ等社会参加に向けた支援<随時> 内部評価：○

内容	実績等
ボランティア体験、就労体験の実施	生活困窮者等自立支援事業：内職作業2名 若者の居場所「縁」：サロン活動

●情報提供●

- ・周知、啓発活動<通年> 内部評価：△

内容	実績等
機関誌、民協定例会、福祉座談会での周知	事業の紹介。利用者の増加につながった事業もあった。

(6) 虐待防止対策

①子ども・高齢者・障がい者・暴力行為等に対する相談窓口の啓発、周知

●虐待防止への対策・対応●

- ・福祉サービス利用に関して、運営規程に基づいた虐待防止委員会の設置<通年> 内部評価：○

内容	実績等
委員会の設置	設置済み。3/10開催

- ・虐待に関する相談・通報の受付<通年> 内部評価：○

内容	実績等
虐待相談受付	なし

- ・障がい者虐待防止センターの周知<年度内> 内部評価：×

内容	実績等
年1回	なし

- ・社協が虐待に関する相談窓口でもあることを各種事業実施時に周知やチラシポスターの作成と配布<通年> 内部評価：×

内容	実績等
チラシ 300 枚、ポスター3 枚	作成していない

### (7) 子どもの未来応援の推進

①子ども支援サポーター（コーディネーター）による課題を抱える家庭と子どもの把握、地域資源の把握と連携、子どもの体験活動や居場所の確保

#### ●子どもの居場所活動●

- ・「kitchen いちごいちえ」＜毎月2回＞ 内部評価：○
- ・「いちご塾」＜年2回＞ 内部評価：○

内容	実績等
子育て世帯、子育てに協力している祖父母対象に学校を通じてチラシの配布や SNS でチラシを掲載	「kitchen いちごいちえ」年間 24 回開催 「いちご塾」年間 2 回開催

＜kitchen いちごいちえ 実績＞

- ・目的：子ども、子育て世帯の孤立防止と早期に相談につながる関係及び機会をつくる。
- ・内容：相談、食事の提供、食料等支援、当事者同士の交流他 ・参加：一世帯月一回
- ・開催日時：基本毎月第3土・日（月2回） 17:00～19:00
- ・会場：みんなのお家だんらん

	延家族	延参加者(子ども・大人)	延ボランティア		備考
			中高生他	調理	
4月	5家族	29人(14・15)	4人	5人	
5月	9家族	27人(15・12)	3人	4人	
6月	12家族	33人(16・17)	3人	4人	
7月	9家族	28人(12・16)	7人	4人	
8月	4家族	15人(7・8)	1人	3人	
9月	12家族	36人(16・20)	9人	3人	
10月	11家族	30人(14・16)	10人	4人	
11月	8家族	25人(14・11)	9人	4人	
12月	18家族	50人(25・25)	17人	7人	
1月	6家族	18人(9・9)	16人	4人	
2月	17家族	51人(27・24)	15人	4人	
3月	17家族	49人(25・24)	24人	4人	
計	128家族	391人(194・197)	118人	50人	24回開催

＜いちご塾 実績＞

- ・内容：学校の長期休み期間中の学習支援等を行う。・対象者：小学生 ・会場：みんなのお家だんらん

期日	時間	参加者	内容等	ボランティア
8月24日(土)	9:00～15:00	3人	夏休みの課題、絵手紙	世代をつなぐ会2人、調理1人
1月12日(日)	9:00～15:00	2人	冬休みの課題、レクリエーション、中学生と交流	サポート1人、調理2人、中学生ボランティア11人

- ・「縁」“ゆかり”（若者の居場所）＜毎月第1月曜日＞ 内部評価：○

内容	実績等
・機関誌にチラシを掲載 ・カフェ、学習支援の継続	機関紙にチラシ掲載

- ・目的：若年層を中心に、相談や社会参加、就労体験等を通じて自立を支援する。
- ・対象者：ひきこもりや不就労等の方 ・開催日時：毎月第1月曜 11:00～12:00(基本)
- ・会場：みんなのお家だんらん

No.	開催日	活動者	サポート	サポステ	合計	内容
1	5月13日(月)	2人	1人		3人	カフェ
2	6月3日(月)	2人		1人	3人	カフェ
3	7月8日(月)	2人		1人	3人	カフェ
4	8月5日(月)	2人	1人	1人	4人	カフェ
5	9月2日(月)	2人	1人	1人	4人	カフェ
6	10月7日(月)	2人	1人	2人	5人	カフェ
7	11月18日(月)	3人	1人		4人	カフェ
8	12月2日(月)	3人	1人	2人	6人	カフェ
9	1月6日(月)	3人	1人		4人	カフェ
10	2月3日(月)	3人	1人		4人	カフェ
11	3月3日(月)	3人	1人		4人	カフェ
計		延 27人	延 9人	延 8人	延 44人	

※サポート：町民ボランティアスタッフ ※サポステ：秋田若者サポートステーションスタッフ

### ●支援が必要な家庭や子どもの把握●

・町と連携し、集まる機会への参加と窓口の周知<随時> 内部評価：△

内容	実績等
支援が必要な世帯の把握と専門機関へのつなぎ	地域学校協働活動への関わりの中で、子どもの様子を知る機会となっている。

<地域学校協働活動推進員の活動 実績> ※子ども支援サポーターが推進員として活動

	内容	会場	時間
4月	委嘱状交付 16日：第1回推進会議	セパーム	10：00～10：30 15：00～
5月	学校待機	パレット広場	10：00～12：00
7月	12日：第2回推進会議 22日：ボランティアへの便り配布準備	セパーム だんらん	10：00～11：00 10：00～11：00
8月	21日：本部打ち合わせ	セパーム	10：00～11：00
9月	18日：研修会 23日：リユース引き渡し会	北秋田市 セパーム	8：30～11：30
10月	11日：学校待機 19日：小坂小学校創立150周年記念式典	パレット広場 セパーム	10：00～12：00 10：00～12：00
12月	22日：リユース引き渡し会	セパーム	8：30～11：30
1月	15日：第3回推進会議	セパーム	11：00～12：00
2月	7日：ボランティア研修会&交流会 14日：ひな人形飾りつけ 21日：卒業式飾りつけ 27日：ボランティア研修会&交流会準備 28日：ボランティア研修会&交流会	セパーム 小学校 小・中学校 だんらん セパーム	10：00～12：30 10：00～12：00 10：00～12：00 13：30～14：30 9：00～12：00
3月	7日：ひな人形片付け 21日：図書消毒、入学式へ飾りつけ直し	小学校 小・中学校	10：00～12：00 10：00～12：00

<子ども支援サポーター相談実績（10月～3月） 合計277件

世帯の属性	乳幼児	小学生	中学生	高校生	その他
	69件	124件	73件	2件	9件
支援方法	来所	電話	その他		
	254件	1件	22件		
支援内容	子育てに関する支援	家族関係・人間関係に関する支援	その他		
	7件	4件	266件		

②青少年（不登校や中退）へのサポート事業の取り組み

●実態把握と活動への検討●

・視察研修（フリースクール等）<年度内> 内部評価：×

内容	実績等
先進地視察の実施(年1回)	なし

・関係機関との連絡会の開催<通年> 内部評価：×

内容	実績等
定期的に連絡会を開催（3か月に1回程度）	なし

<いちごの実 実績>

- ・開催会場：みんなのお家だんらん
- ・開催日：平日の水曜以外（但し1日・11日21日はなし）
- ・時間：9時～17時

回数	実利用者数	延利用者数	支援内容	実施日
3回	1人	3人	宿題、会話、机拭き、食器洗い、だんらん飾り作成	2/19・2/28・3/6

(8) 自殺対策

①地域での気づき・見守り活動の支援と自殺予防活動の強化・充実に向けた人材育成

●活動強化と人材育成●

・傾聴ボランティア養成講座の開催<年1回（4回シリーズ）> 内部評価：○

内容	実績等
養成講座の開催。 修了者に傾聴ボランティア「一休さん」への入会を案内し会員を増やす。	会場：セバーム ①1/30(木)「秋田県内の自殺の現状や予防について」 講師：大館保健所 企画福祉課 保健師 藤田弥世 氏 ②2/14(金)「自分の心を言葉にしよう」 講師：絵本セラピスト協会認定 基礎絵本セラピスト® 木村加奈子 氏 ③3/6(木)「うつ病の方への理解と対応について」 講師：JA 秋田厚生連 能代厚生医療センター 精神科認定看護師 館岡賢太 氏 ④3/14(金)「傾聴について」 講師：スクールカウンセラー 公認心理師・臨床心理士 小林寛幸 氏 <参加者>①25人、②32人、③27人、④23人 <新規修了者>10人

②自殺に関する啓発・周知の推進

●啓発活動・情報提供●

・町内イベント、自殺予防週間への協力<随時>・ポスターの掲示等<随時> 内部評価：○

内容	実績等
保健センターと一休さんが連携	4件（啓発活動、情報交換他）

<町内イベント、自殺予防週間への協力等：保健センターと一休さんとの連携>

日付	内容	イベント等	備考
6/8(土)9(日)	啓発活動	アカシア祭り	啓発グッズ配付
8/21(水)	情報交換	一休さん定例会	保健センター実習生3人含む
8/28(水)	事業への協力	たんぼぼの会	調理(川上公民館)
9/11(水)	啓発活動	自殺予防週間	マックスバリュ前
10/23(木)	事業への協力	たんぼぼの会	アロマキャンドル作り(中滝ふるさと学舎)
11/27(水)	事業への協力	たんぼぼの会	調理(川上公民館)
2/26(木)	事業への協力	たんぼぼの会	調理(川上公民館)
3/4(火)	啓発活動	自殺予防街頭キャンペーン	コンビニ、ハッピードラック前等

◆傾聴ボランティアの会「一休さん」の支援

町受託の人材養成事業修了者後の活動の機会として、傾聴ボランティアの会の立ち上げ(平成22年)から運営までを支援してきた。

<お茶っこサロン「一休さん」>町民の身近な相談場所としてサロン活動を実施している。

・毎週水曜と1日・11日・21日 9:30~13:00 ・会場：みんなのお家だんらん

	延回数	延来場者数	延活動者数	備考
前年度	70回	497人		
4月	6回	65人	21人	
5月	6回	47人	24人	
6月	6回	57人	23人	
7月	7回	59人	25人	
8月	5回	39人	18人	
9月	4回	36人	11人	
10月	8回	89人	25人	
11月	7回	52人	24人	
12月	4回	30人	15人	
1月	5回	44人	18人	
2月	5回	53人	14人	
3月	6回	74人	22人	
計	69回	645人	240人	

◆専門(弁護士)相談の実施

・目的：住民の心配ごとや生活に関する相談に応じ、必要な助言を行うことで精神的安定と福祉の向上を図る

・会場：ゆーとりあ

月	件数	内容
前年度	14件	相続、登記、借金、年金、生命保険、近隣トラブル(落雪)
4月	1件	金銭トラブル
5月	1件	家族の悩み
6月	2件	相続、金銭トラブル
7月	2件	相続
11月	2件	亡くなった叔母の支払い
1月	1件	労災
2月	2件	相続・土地
計	11件	※8・9・10・12・3月は相談なし

## (9) 生活基盤の整備

### ①障がい者・生活困窮者・一人親世帯等支援が必要な人たちへの合理的配慮を基本とした就労支援

#### ●合理的配慮に対応した支援●

- ・ハローワークや障害者就業・生活支援センターとの連携<通年> 内部評価：○

内容	実績等
ハローワークとの連携	障害：個別支援会議 1 件
障害者就労支援・生活支援センターとの連携	障害：個別支援会議 1 件

### ②多様な住まいの確保

#### ●ニーズ把握●

- ・住まいに対するニーズの確認<通年> 内部評価：△

内容	実績等
生活困窮者や障がい者等の相談対応時に確認	適宜実施

## (10) 共生型サービスの推進

### ①多様な生活段階における支援と分野横断的な取り組みの推進

#### ●制度の狭間への対応●

- ・基準該当生活介護の実施<通年> 内部評価：○

内容	実績等
基準該当サービス	(デイサービスゆーとりあ) 延べ利用回数：2 1 1 回 実利用者数：3 人

## (11) 災害時の体制及び対応の強化

### ①防災への意識と心構えの周知

#### ●防災に対する理解と心構え●

- ・防災意識や災害時身を守るための行動に関する研修会の開催（町関係部署と合同）<随時>  
内部評価：×

内容	実績等
住民、児童・生徒を対象にした研修会（年 1 回）	なし

- ・座談会やネットワーク情報交換会での周知<随時> 内部評価：△

内容	実績等
開催の都度	福祉座談会で安否確認や災害時要配慮者の把握や避難行動等つながる個人情報の考え方について話題になった。

### ②災害発生時の行動、発生後の状況把握や支援、事業の維持・継続等に向けた関係部局との連携

#### ●緊急災害時への対策・対応●

- ・災害時における職員の行動について共通理解を図る<通年> 内部評価：×

内容	実績等
定期的に確認	なし

- ・避難所生活の体験プログラムの実施（町関係部署と合同）<随時> 内部評価：×

達成目標	実績等
定期的に確認	なし

- ・福祉避難所機能や規模・役割について町関係部署と再確認<随時> 内部評価：△

内容	実績等
防災計画における位置づけを再確認	次年度実施予定の県防災訓練に向けた打ち合わせで確認した。
設置訓練（年1回）	なし

## (12) 災害時要支援者対策の推進

### ①災害時要支援者の把握、個別避難計画の作成

#### ●町担当部局との情報共有●

- ・自治会や民生児童委員を交えた災害時要支援者対策の推進に協力する<通年> 内部評価：×

内容	実績等
個別避難計画作成数の増加	在宅支援推進委員会で話題になり、民生児童委員や自治会役員の間では関心の高さが伺えた。

- ・災害に備えた地域づくりの推進<随時> 内部評価：○

内容	実績等
会議及び委員会等で話題提供	座談会開催時での話題提供。危険区域にある自治会では特に心配との声が多く、より早めの行動や日頃の安否確認の大切さを再確認した。今後も共通理解を図りたい。

### ②災害ボランティアセンター設置・運営、役割・機能に関する関係部局との共通理解と体制整備

#### ●災害ボランティアセンターの機能と役割●

- ・町と締結している災害ボランティアセンター設置協定の内容確認と体制整備<通年> 内部評価：△

内容	実績等
備品等の充足及び備品リストの更新	備品の追加・更新なし。経費面の課題もあり、現在準備している備品管理を継続。
町関係部局との協議及び検討	次年度へ持ち越し。

- ・災害ボランティアセンター設置について、県内被災地や県社協等からの情報収集<随時> 内部評価：×

内容	実績等
会議等での情報交換他	2/3 災害ボランティアコーディネーターフォローアップ研修に参加

- ・必要に応じて被災地の現地視察、支援活動の実施<随時> 内部評価：×

内容	実績等
他市町村社協災害ボランティアセンターへの応援派遣	山形県酒田市への要請あったが、条件や緊急性から判断して派遣せず。

## (13) 地域安全活動の推進

### ①防犯活動の推進と消費者生活に関する啓発

#### ●地域の安全活動● <通年> 内部評価：○

内容	実績等
座談会及び情報交換会開催時にも周知（特殊詐欺など）	注意喚起の実施。座談会、事業利用者宅の訪問、「かようカフェ」にてチラシを配布。その際に個別に気になるケースが聞かれる等今後も様々な機会に周知を継続していきたい。

## (14) 介護福祉の人材育成と確保

### ①介護の人材確保に向けた情報提供や研修への参加促進（令和6年度新規）

●人材育成と確保●

- ・外国人雇用に関する情報収集や研修会への参加<通年> 内部評価：×

内容	実績等
機会をみて適宜参加	これまでの研修や視察などの結果として、本会として取り組むことは困難と判断し、積極的な収集はしていない。

- ・近隣の養成校への学校訪問の継続（町と協議）<通年> 内部評価：×

内容	実績等
早めの訪問	町と情報共有する中で、昨年度訪問した学校において、学部の閉鎖や募集停止が複数あり、学校訪問は断念した。

- ・町内小中学校と連携した介護体験や学びの場の実施<通年> 内部評価：○

内容	実績等
他事業との連携含む	9/12 小坂小「車いす体験」 2/18 小坂中「認知症サポーター養成講座」

②介護職員の処遇改善や人材育成の見える化の推進

●処遇改善●

- ・介護保険制度改正の報酬改定への対応<年度当初> 内部評価：○

内容	実績等
改定を受けての収支状況の試算と加算への対応	デイサービスゆーとりあ：機能訓練加算の新規取得（10月）

- ・事業への取り組み、課題解決に向けた実践等を踏まえた事業管理と人事評価の実施<半年毎及び年度内> 内部評価：○

内容	実績等
事業への自己評価をベースに進捗状況を確認	地域福祉班では進行管理表で進捗状況を確認。課題解決に向けた実践は不十分。通所介護事業では自己評価をベースに、会長、事務局長、管理者による面談を行い、人事評価を実施した。

③生活支援コーディネーターや相談支援を行う職種、地域福祉活動の中心となるコミュニティソーシャルワーカーの育成と確保

●チーム対応とスキルアップ●

- ・研修への積極的な参加<通年> 内部評価：△

内容	実績等
適宜	1/22 生活支援コーディネーター活動支援研修に参加。 2/10 生活支援コーディネーター情報交換会（県北地区）に参加。

- ・コミュニティソーシャルワーカーの活動の整理とマニュアル化<上半期> 内部評価：△

内容	実績等
作成と共有	訪問活動の強化に向け業務記録を一部見直し、活動への意識付けと活動の可視化を図った。

- ・民生児童委員との情報交換及び自治会訪問<通年> 内部評価：△

内容	実績等
情報交換会	計画的な実施はなかったが、個別には随時情報交換を行った。
自治会訪問	福祉座談会の開催：38自治会 生活支援コーディネーター（コミュニティソーシャルワーカー兼務）のみ対応した。

## 【基本目標3】持続可能なサービス提供と支援体制の確保

### (1) 相談窓口での有効活用

#### ①パンフレット、ガイドブックを活用した情報提供の推進（令和6年度新規）

●社協で実施している事業の紹介●<年度内> 内部評価：○

内容	実績等
社協事業一欄の作成及び更新	事業一覧の更新。福祉座談会用の事業紹介資料作成。

●福祉サービスや各種制度のパンフレットの紹介●<年度内> 内部評価：△

内容	実績等
窓口に置くパンフレット等の整備	積極的な情報収集や職員間での情報共有は今後の課題。

### (2) 情報提供の充実

#### ①福祉的配慮のある情報提供の推進（令和6年度新規）

●配慮した情報提供の実施<通年> 内部評価：○

内容	実績等
対象者の状態や障がいに配慮した対応	障害の特性に応じて、直接的な配慮のほか環境への配慮なども行っている。

○日常的な支援の中から情報提供に関するニーズを聞き取る<通年> 内部評価：△

内容	実績等
情報提供に関するニーズ把握	意図的にはできていない。

### (3) 生活基盤整備の促進

#### ①生活課題を抱える要支援者の安心した生活を支える事業の推進

●助け合い倶楽部事業●

・家事援助、通院同行、除雪、託児などの生活支援サービスの提供<随時> 内部評価：○

・目的：住民主体の助け合いを基本とし、孤立防止・生きがいづくりに寄与し、事業を通じて地域の福祉力の向上を図り、共生社会の充実・助け合いの地域づくりを目指す。

・内容：介護や家事、通院同行、子育て支援、除排雪等のサービスを提供。生活上の負担軽減や子育てのリフレッシュ等を図り安心した生活を支援。

・対象者：独居高齢者や障がい者、高齢者・障がい者世帯、子育て世帯、経済的に困窮している方や社会的孤立状態の方等。

	登録活動者			登録利用者			実利用者	延利用者	実活動者
	新規	抹消	総数	新規	抹消	総数			
3月末			25人			24人		423人	
4月			25人	2人	1人	25人	9人	38人	6人
5月			25人	1人	1人	25人	11人	38人	10人
6月			25人	2人		27人	12人	33人	10人
7月			25人			27人	10人	42人	8人
8月			25人	1人	1人	27人	10人	28人	10人
9月			25人	1人		28人	13人	32人	11人
10月			25人			28人	10人	38人	10人
11月		1人	24人	1人		29人	10人	37人	10人
12月			24人	2人		31人	13人	45人	12人
1月			24人	1人		32人	10人	44人	11人
2月			24人	2人	1人	33人	10人	49人	11人

3月			24人	1人		34人	10人	33人	10人
計			24人	14人	4人	34人		457人	

<支援内容別>

	買い物	調理	掃除	洗濯	話し相手	外出同行	薬受取り	薬仕分け	服薬確認	託児	その他	計
4月	7件	9件	19件	3件	7件	1件		3件	1件		1件	51件
5月	7件	9件	17件	4件	7件	3件	1件	3件		1件		51件
6月	3件	8件	17件	2件	6件	4件	1件	2件			3件	46件
7月	7件	10件	23件	5件	6件	1件		2件			6件	60件
8月	3件	9件	14件	1件	8件	2件			2件	1件	4件	43件
9月	2件	8件	17件	0件	7件	4件	1件		2件	2件	4件	45件
10月	5件	9件	22件	1件	9件	2件	0件				5件	53件
11月	7件	9件	20件	1件	8件	2件	1件		1件		3件	52件
12月	6件	8件	20件	0件	8件	3件	1件		2件		11件	59件
1月	7件	8件	18件	1件	7件	0件	2件		1件		12件	56件
2月	8件	8件	17件	0件	8件	2件	1件		1件		14件	59件
3月	7件	8件	14件	0件	6件	4件	1件		1件		0件	41件
計	69件	103件	218件	18件	87件	28件	9件	10件	11件	4件	63件	616件

※外出同行：通院・受診同行、買い物同行

※その他：手紙出し、布団干し、ごみ出し、給油

- ・人材育成と確保(研修会の実施)、地域住民の福祉力向上による支え合いの地域づくり<年度内>

内部評価：×

内容	実績等
研修会開催(活動者を増やす)	実績なし

- ・活動者の情報交換会の開催<年度内> 内部評価：△

内容	実績等
情報交換会(年3回)	12/20 活動者8人、包括支援センター職員1人 ① 実績について②社協の事業について③意見・情報交換会

●配食サービス事業●

- ・調理、配達の人材確保に向けた周知<随時> 内部評価：○

内容	実績等
機関紙及びチラシでの周知	かだる4月号に募集記事掲載

- ・調理体制の工夫と業者との調整<随時> 内部評価：○

内容	実績等
負担軽減も視野に調整	担当課と協議して、弁当発注する業者を増やした

- ・事業継続、拡充に向けた検討<年度内> 内部評価：○

内容	実績等
他機関の情報収集及び担当課と検討	町が示している拡充の意向を職員間で共有。次年度より週3回→4回

・対象者：独居高齢者、高齢者世帯など身体状況が虚弱で日々の食事作りに支障をきたす方

・回数：週3回(月・水・金)まで ・内容：夕食を提供

・調理体制：個人ボランティアグループ、花輪ふくし会わいわい、かまどや(鹿角市) R6.8月新規

・配達体制：個人ボランティアのペア

<実施回数及び事業体制>

	実施回数	ボランティア調理			業者 調理	ボランティア実人数	
		月曜	水曜	金曜		調理	配達
前年度	153回	44回	47回	36回	26回	10人	7人
4月	13回	4回	4回	3回	2回	10人	7人
5月	14回	4回	4回	5回	1回	10人	7人
6月	12回	4回	4回	3回	1回	10人	7人
7月	14回	4回	4回	3回	3回	10人	7人
8月	13回	3回	3回	4回	3回	10人	7人
9月	13回	3回	4回	3回	3回	10人	7人
10月	13回	3回	4回	3回	3回	10人	7人
11月	13回	3回	4回	4回	2回	10人	7人
12月	12回	4回	3回	3回	2回	10人	6人
1月	12回	3回	3回	4回	2回	10人	7人
2月	12回	3回	4回	3回	2回	10人	7人
3月	13回	4回	3回	3回	3回	10人	7人
計	154回	42回	44回	41回	27回	120人	83人

<対象者別食数>

	総食数	高齢者				障がい者			
		登録			延食数	登録			延食数
		新規	抹消	実数		新規	抹消	実数	
前年度	4,368食			18人	2,780食			10人	1,588食
4月	336食			18人	214食			10人	122食
5月	369食	2人		20人	239食			10人	130食
6月	325食	1人		21人	214食			10人	111食
7月	393食	3人	2人	22人	269食	1人		11人	124食
8月	337食		4人	18人	218食	1人	1人	11人	119食
9月	352食	2人		20人	213食	1人		12人	139食
10月	355食	1人	1人	20人	242食		1人	11人	113食
11月	327食	1人		21人	235食		3人	8人	92食
12月	278食		4人	17人	195食			8人	83食
1月	248食	2人	2人	17人	182食	1人	2人	7人	66食
2月	261食			17人	194食			7人	67食
3月	287食	3人	2人	18人	212食	1人	1人	7人	75食
計	3,861食	15人	15人	229人	2,627食	5人	8人	111人	1,241食

●ふれあい安心電話事業●

- ・サービス利用者への定期訪問による安否確認<随時> 内部評価：×

内容	実績等
訪問回数を増やし民生児童委員や協力員との共有	9月末：設置数10台（利用中7 休止中3） 3月末：設置数11台（利用中5 休止中5 廃止1） 訪問は負担金集金にとどまる。民生委員や協力員との情報共有には至っていない。

- ・民生児童委員や協力員との情報交換会の開催<年度内> 内部評価：○

内容	実績等
協力員情報交換会	3/21 ふれあい安心電話協力員情報交換会。（出席6人、欠席12人）

- ・携帯電話主流の中での事業体制のあり方に向けた情報収集と協議・検討<年度内> 内部評価：△

内容	実績等
情報収集	隣接する市の事例を参考に、町への情報提供と今度の協議検討につなげる。

- ・目的：独居高齢者及び身体障害者等に対し、緊急通報装置を給付または貸与することにより急病や災害時の緊急時に迅速かつ適切な対応を図る
- ・対象者：おおむね65歳以上の独居高齢者、高齢者世帯の虚弱な方等
- ・利用負担金：1か月800円（利用者負担600円 県社協補助金(R4年度)充当200円）

<端末機の設置状況>

	新規	取外し	設置			備考
			利用	休止	廃止	
3月末			9台	3台		
5月		1台	9台	2台		1台：休止→利用再開
6月		1台	8台	2台		
10月		1台	7台	2台		
11月			6台	3台		1台：利用中→休止
12月	1台		5台	5台		2台：利用中→休止
1月			3台	7台		2台：利用中→休止
2月			4台	6台		1台：休止→利用再開
3月	1台		5台	5台	1台	1台：利用中→廃止、1台：休止→利用再開

<メインセンター(立山科学)、サブセンター(町社協)への着信>

	メインセンター			サブセンター		備考
	①緊急通報	②相談	③電源異常等	④相談	⑤試験発信	
前年度	3件	0件	2件	2件	7件	
4月			1件			③誤操作
5月			1件			③取り外しによる
11月	1件					①転倒による緊急発信
2月			1件			③バッテリー切れ
計	1件		3件			

●高齢者等交流拠点(湯楽)●

- ・利用者の状況把握<随時> 内部評価：
- ・町担当部局、地域包括支援センター、シルバー人材センターとの連携、情報提供<随時>内部評価：○

内容	実績等
利用者状況を都度把握しスムーズな利用につなげる	包括支援センターから情報ももらい、利用者本人に生活状況も聞き取りしている。

- ・目的：要介護高齢者及び障がい者等が高齢者交流拠点利用することで自立した生活の継続と要介護状態への進行を防止することにつなげ保健福祉の向上を図る。
- ・開設日：週3回(月・水・金)
- ・実施会場：ゆーとりあ
- ・支援内容：送迎、見守り、生活相談他 ※清掃業務は、町がシルバー人材センターへ委託

	登録者		実利用者		延利用者			開設数
	女	男	女	男	女	男	計	
3月末	12人	8人	8人	8人	857人	717人	1,574人	232回
4月	7人	6人	7人	6人	75人	63人	138人	13回

5月	7人	6人	7人	5人	82人	65人	147人	14回
6月	7人	6人	7人	5人	69人	40人	109人	12回
7月	7人	5人	6人	4人	71人	28人	99人	14回
8月	6人	4人	6人	2人	65人	26人	91人	13回
9月	5人	4人	5人	3人	63人	34人	97人	13回
10月	5人	3人	5人	3人	59人	37人	96人	13回
11月	5人	3人	5人	2人	60人	26人	86人	13回
12月	5人	3人	5人	3人	58人	29人	87人	13回
1月	5人	3人	5人	3人	46人	31人	77人	11回
2月	5人	3人	5人	3人	50人	26人	76人	12回
3月	5人	3人	5人	3人	55人	28人	83人	13回
計					753人	433人	1,096人	154回

※令和6年度当初において、長期間利用がない人を登録抹消とした

### ●地域リハビリ活動支援●

- ・地域の介護予防の取り組みの推進、強化<通年> 内部評価：○
- ・地域包括支援センターと連携した総合的支援<通年> 内部評価：○

内容	実績等
各事業や会議、通いの場、居場所への参加、訪問を通していつまでもいきいきと暮らせる人を増やす。	出前講座 3自治会1団体（延べ13回） ・理学療法士による実施 介護予防リーダー養成：延べ9回 ・その他職員による実施 レクリエーション：延べ4回

#### <出前講座>

- ・目的：自治会等が行う居場所活動や学習会などで活用できるメニューを提供。地域の福祉力向上や地域づくりの推進、住民の主体的な介護予防や健康意識の向上を図るとともに要介護状態にならないよう機能維持に資する。
- ・内容：8メニュー（出張お元気ジム、認知症について、居場所づくり、レクリエーション、デイサービスについて、介護教室、社協の事業・地域づくり、共同募金）を設定。内容に応じて適した職員が自治会等に出向いて講座を開催する。
- ・対象：自治会、自主サークル等

No.	期日	自治会・団体名	内容	参加
1	5月16日(木)	楽々クラブ	介護予防リーダー養成	12人
2	5月28日(火)	藤倉団地	介護予防リーダー養成	14人
3	5月29日(水)	古苦竹	介護予防リーダー養成	9人
4	6月4日(火)	若葉町	レクリエーション	6人
5	6月13日(木)	楽々クラブ	レクリエーション	9人
6	7月2日(火)	若葉町	レクリエーション	8人
7	7月18日(木)	楽々クラブ	介護予防リーダー養成	10人
8	7月23日(火)	藤倉団地	介護予防リーダー養成	14人
9	7月25日(木)	古苦竹	介護予防リーダー養成	7人
10	8月8日(木)	楽々クラブ	レクリエーション	10人
11	9月12日(木)	楽々クラブ	介護予防リーダー養成	13人
12	9月24日(火)	藤倉団地	介護予防リーダー養成	14人
13	9月25日(水)	古苦竹	介護予防リーダー養成	8人
14	10月1日(火)	若葉町	レクリエーション	9人
15	10月7日(月)	新花町	介護予防リーダー養成	15人
16	10月10日(木)	楽々クラブ	レクリエーション	13人

17	11月14日(木)	楽々クラブ	介護予防リーダー養成	10人
18	11月18日(月)	東渡ノ羽	レクリエーション	7人
19	11月26日(火)	藤倉団地	介護予防リーダー養成	13人
20	11月27日(水)	古苦竹	介護予防リーダー養成	7人
21	12月3日(火)	若葉町	レクリエーション	9人
22	12月12日(木)	楽々クラブ	レクリエーション	14人
23	1月20日(月)	東渡ノ羽	介護予防リーダー養成	5人
24	1月28日(火)	藤倉団地	レクリエーション	12人
25	1月29日(水)	古苦竹	レクリエーション	8人
26	3月25日(火)	藤倉団地	レクリエーション	14人
27	3月26日(水)	古苦竹	レクリエーション	9人
計		5自治会、1サークル	2メニュー	延279人

●福祉機器の貸出●

- ・車椅子の貸出<通年> 内部評価：△

内容	実績等
必要としている人へ必要な期間の貸出	返却遅延への対応を適正に行う。

- ・介護保険事業での福祉用具レンタルができない、そぐわない等

(保有台数：車椅子3台、ベッド6台)

	車椅子			ベッド		
	貸出	返却	在庫	貸出	返却	在庫
R6.3月末	1台		2台	1台		5台
7月	2台		1台	1台		5台
9月		1台	2台	1台		5台
11月	1台	1台	2台	1台		5台
12月	1台	1台	2台	1台		5台
3月	1台	1台	2台	1台		5台

●高齢化に伴う移動支援の体制●

- ・町の計画を踏まえ、住民の声やニーズを共有し、福祉的支援についての協議・検討<年度内> 内部評価：△

内容	実績等
他市町村の移動支援の情報収集と視察を検討	情報収集するも視察の検討まで至らず

●介護予防事業の推進●

- ・訪問型短期集中リハビリ事業、男性の介護予防事業の推進・強化<通年> 内部評価：○

内容	実績等
地域で暮らしていくための機能維持を継続	<理学療法士による実施> ・短期集中訪問サービス：実利用6人 延べ数69回 ・KABU 筋男組：延べ25回【参加者】登録15人 延べ198人 ・さっといげる場所「かしの木」

<訪問型短期集中リハビリ事業> C型サービス：訪問型お元気ジム

- ・目的：介護保険の被保険者が要支援又は要介護状態になることの予防・軽減若しくは悪化の防止、及び自立した日常生活の支援
- ・内容：運動機能訓練や日常生活機能の向上を目的とした指導により、生活機能全体の向上を図る。利用者の生活機能の改善による意欲の向上・身体の回復など、心身の自立を促す（理学療法

士による実施)

- ・対象：要支援者、総合事業対象者
- ・期間：サービス提供開始から原則3か月間※3か月間の延長有

	利用者数		延利用回数		備考
	女	男	女	男	
4月	3人		17回		Aさん2回 Bさん8回 Cさん7回
5月	2人		16回		Bさん7回 Cさん9回
6月	1人	1人	2回	2回	Cさん2回 Dさん2回
7月	1人	1人	4回	4回	Dさん4回 Eさん4回
8月	1人	1人	7回	2回	Eさん7回 Fさん2回
9月	1人	1人	8回	5回	Eさん8回 Fさん5回
10月	1人	1人	4回	9回	Eさん4回 Fさん9回
11月	2人	1人	5回	8回	Fさん8回 Gさん4回 Hさん1回
12月	2人	1人	11回	2回	Fさん2回 Gさん3回 Hさん8回
1月	3人		11回		Gさん4回 Hさん5回 Iさん2回
2月	2人		8回		Iさん4回 Jさん4回
3月	2人		14回		Iさん5回 Jさん9回
計	実8人	実2人	107回	32回	139回

#### <男性の介護予防の推進>

##### 男性を対象とした機能向上事業（K A B U筋男組）

- ・目的：介護予防事業に参加していない男性を対象に、身体機能の維持向上や他者との交流機会の場を提供。
- ・内容：理学療法士の指導のもと介護予防運動を通じて、機能維持や身体能力の向上を図る。
- ・対象者：地域住民（男性限定）5分以上継続して歩行できる人
- ・実施日時：毎週金曜 10:00～11:30
- ・会場：セパーム 他

	回数	登録者数	延参加者数	延サポーター	平均参加者/回
4月	4回	15人	34人	3人	8.5人
5月	4回	12人	32人	3人	8.0人
6月	4回	11人	32人	4人	8.0人
7月	4回	11人	30人	3人	7.5人
8月	5回	12人	43人	3人	8.6人
9月	4回	12人	27人	0人	6.8人
10月	4回	12人	25人	0人	6.3人
11月	5回	12人	47人	7人	9.4人
12月	4回	13人	33人	4人	8.3人
1月	4回	14人	41人	3人	10.3人
2月	4回	14人	37人	3人	9.3人
3月	4回	14人	34人	3人	8.5人
計	50回	実16人	415人	実4人	8.3人

※連続2か月休むと登録を削除 ※サポーター実人数：3人

##### 男性の居場所「さっといげる場所 かしの木」

- ・目的：男性を対象に、気軽に集まって運動や趣味活動を通じて、機能維持や身体能力の向上を図る。

(介護予防)

- ・内容：体操・屋外歩行、趣味活動など。定期的な測定を実施。理学療法士による運動指導もあり。
- ・対象者：地域の男性住民（定員：6人程度）
- ・開催日時：毎週水曜 10：00～11：30 ・会場：みんなのお家だんらん 他

	延回数	延人数	実登録者数	備考
前年度	47回	259人	7人	計測、運動、ストレッチ、散歩 他
4月	4回	24人	7人	
5月	5回	24人	7人	
6月	4回	24人	7人	
7月	4回	26人	7人	7/17 外出（大館市）
8月	3回	17人	7人	
9月	4回	24人	7人	
10月	5回	32人	7人	
11月	4回	25人	7人	
12月	4回	21人	7人	
1月	4回	19人	7人	
2月	4回	25人	7人	
3月	4回	23人	7人	
計	49回	284人	7人	

<多世代交流拠点「みんなのお家だんらん」>での相談・生活支援他

- ・健康相談（町） ・男性の居場所「さっといげる場所 かしの木」
- ・若者の居場所「縁(ゆかり)」 ・子どもの居場所：「Kitchen いちごいちえ」「いちご塾」
- ・いちごの実(不登校支援) ・生活支援：シャワー、洗濯
- ・ボランティア活動：だんらん応援団(薪割り、薪割り、アルミ缶収集協力)
- ・自主サークル：絵手紙の会(毎月第1・3木曜 10～12時)  
折り紙の会(毎月第1・3金曜 10～12時)
- ・ボランティア活動：傾聴ボランティアの会「一休さん」による“お茶っこサロン一休さん”  
毎週水曜と1日・11日・21日 9:30～13:00

**(4) 社会福祉事業の推進**

**①社会動向や法律・制度改正への対応**

●法人内での社会福祉法人連携等の社会動向について共有●<適宜> 内部評価：△

内容	実績等
情報共有の場の開催	町の福祉の将来について、町担当課との協議や意見・情報交換を適宜実施。事業推進・継続に向けた方向性について、事務局レベルでの共有を行った。

●介護報酬改定等への対応●<通年> 内部評価：○

内容	実績等
収入増を見込む	ゆーとりあにおいて新たに機能訓練加算取得。

**(5) 福祉サービスの質の向上**

**①福祉サービス第三者評価事業**

●福祉サービス第三者評価事業実施の検討●<上半期> 内部評価：△

内容	実績等

実施の有無の決定	実施せず
----------	------

●苦情解決第三者委員会の開催●<隔月> 内部評価：○

内容	実績等
2か月に1回開催	委員：3人 開催：年6回(5/21、7/16、9/24、11/19、1/21、3/19)

◆デイサービスゆーとりあ（事故2、アクシデント1、ヒヤリハット8）

	事故		アクシデント		ヒヤリハット		苦情
4月					1件	危うく転倒	
5月					2件	危うく転落、崩れ落ち	
6月					1件	危うく転倒	
7月					1件	危うく尻もち	
8月					1件	入浴用台車脱輪	
9月			1件	服薬確認できず			
12月	2件	車両 (自損・脱輪)			1件	昼食への異物混入	
2月					1件	尻もち	
計	2件(前年度4件)		1件(前年度同)		8件(前年度3件)		0件(前年度同)

◆デイサービスくるみ（ヒヤリハット1）

	事故	アクシデント	ヒヤリハット	苦情
5月			1件	尻もち
計	0件(前年度同)	0件(前年度同)	1件(前年度0件)	0件(前年度同)

◆認知症対応型通所介護 心春（事故2、ヒヤリハット7）

	事故		アクシデント	ヒヤリハット		苦情
前年度	0件		0件	9件		1件
4月				1件	喫煙	
5月				1件	点眼忘れ	
9月				1件	車両誤操作	
10月	1件	爪切り時に皮膚切った		2件	膝つき	
12月				1件	尻もち	
3月	1件	裂傷		1件	尻もち	
計	2件(前年度同)		0件(前年度同)	7件(前年度9件)		0件(前年度同)

◆居宅介護支援事業所（苦情1）

	事故	アクシデント	ヒヤリハット	苦情	
3月				1件	担当ケアマネ変更希望
計	0件(前年度1件)	0件(前年度同)	0件(前年度同)	1件(前年度0件)	

◆総務・地域福祉（事故1）

	事故		アクシデント	ヒヤリハット	苦情
8月	1件	エレベーター故障で閉じ込め			
計	1件(前年度同)		0件(前年度同)	0件(前年度1件)	0件(前年度1件)

◆全体

	事故	アクシデント	ヒヤリハット	苦情
4月			2件(ゆ1、心1)	
5月			4件(ゆ2、く1、心1)	
6月			1件(ゆ)	
7月			1件(ゆ)	

8月	1件(地総)		1件(ゆ)	
9月		1件(ゆ)	1件(心)	
10月	1件(心春)		2件(心)	
12月	2件(ゆ)		2件(ゆ1, 心1)	
2月			1件(ゆ)	
3月	1件(心)		1件(心)	1件(居)
計	5件(前年度6件)	1件(前年度同)	16件(前年度13件)	1件(前年度2件)

## (6) 地域の支援体制づくりの推進

### ①地域福祉を支える人材育成と支援

- 担い手を確保するための協議・説明を行う●<通年> 内部評価：△

内容	実績等
社協内部での協議や座談会時で説明	座談会での社協の事業紹介を通して人材確保に努めた。

- 次世代を担う小中学生に対する福祉や多様性を理解する機会をもうける。また福祉の体験及び事業を学校と連携して行う●<随時> 内部評価：△

内容	実績等
社会教育・学校との連携で講座等の実施(年1~2回)	小学校らの要請で4年生を対象に車椅子体験を行ったが、社協主導での事業はできていない

- 地域で活躍する健康づくりサポーターと連携した活動の推進●<随時> 内部評価：○

内容	実績等
居場所の拡充、体操の習得	小坂町短期集中お元気クラブパワーアップ事業(新規)への協力。出前講座の実施。

<中小坂短期集中お元気パワーアップ事業>(令和6年度 町の新規事業)

- ・目的：介護予防を通して助け合いの地域づくりを進めるモデル事業。生活支援コーディネーターを中心に自治会支援を行い、今後の普及に向ける。
- ・実施自治会：中小坂 ・場所：中小坂自治会館 ・実施期間：令和6年4月~9月
- ・業務委託先：(株)ピーベリー 健康運動指導士 児玉美幸 氏

月	内容	会場	備考
4月	事業説明会	中小坂自治会館	
4月	計測研修会	役場	地域福祉班職員含む
4・9月	測定会	中小坂自治会館	地域福祉班職員含む
4~9月	短期集中お元気パワーアップ	中小坂自治会館	毎週金曜 10:00~11:30
10~3月	フォローアップ	中小坂自治会館	隔週金曜(6回) 10:00~11:30

### ②地域における支え合い活動の推進

- くらしの安心サポート推進事業●

- ・軽トラック、除雪機の貸出<通年※除雪機は冬季> 内部評価：△

内容	実績等
軽トラックのメンテナンスの継続	定期点検の実施
軽トラック貸出	12月1件 藤倉団地(12/24) 1月3件 藤倉団地(1/7、1/17、1/21) 2月1件 藤倉団地(2/6) 合計 5件
除雪機貸出要件見直しの検討	なし

## (7) 福祉教育の推進

### ①様々な世代を対象とした福祉教育や体験活動の場の提供

#### ●小中学校におけるボランティア活動の支援と参加促進●

- ・ボランティア体験活動の企画・実施<通年> 内部評価：○

内容	実績等
夏・冬休み（年2回）	夏休み：子どもの居場所事業(いちご塾)で継続実施

- ・学校行事や活動への協力（職員派遣等）<随時> 内部評価：○

内容	実績等
中学校除雪ボランティア実施	2/17(月) 実施件数：6件

#### ●地域生活・福祉課題を考える研修会・講座開催●<年度内> 内部評価：×

内容	実績等
全世代対象（1回）	なし

### ②学校・社会教育・地域・行政等との事業連携

#### ●福祉教育に対する共通理解と事業の連携●・教育委員会、学校との事業連携<随時>※①と同じ

## (8) 生活支援コーディネーター活動

### ①地域見守りネットワーク情報交換会の開催や居場所づくりに寄せられた意見を自治会訪問や協議体での課題解決に向けた検討・協議を行います。

#### ●地域における新たな課題の把握や課題解決に向けた取り組みを実施●

- ・居場所づくりに焦点を絞り情報交換会を開催<通年> 内部評価：×

内容	実績等
対象自治会全訪問	※中小坂自治会で「短期集中お元気パワーアップ事業」の支援実施。

## (9) 地域での介護予防・健康づくり事業の推進

### ①介護予防と健康づくり事業の一体的推進

#### ●運動への取り組みを推進●

- ・意識づけ<随時> 内部評価：△

内容	実績等
健康づくり事業への参加者を増やす	出前講座の実施。

- ・生活動作における効果的な運動の仕方<随時> 内部評価：×

内容	実績等
自宅でのトレーニング導入（チラシ・DVD等）	なし

### ②通いの場活動の推進

#### ●自治会の居場所づくりへの協力●

- ・立ち上げに向けた協議や内容の相談・検討<年度内> 内部評価：×

内容	実績等
研修会の開催	実績なし

#### ●定期的に情報収集を行う●

- ・自治会訪問の実施<随時> 内部評価：△

達成目標	実績等
訪問する自治会を増やす	座談会の実施

### (10) 自治会を単位とした小地域福祉活動の推進

#### ①自治会活動との連携、住民参加型福祉サービスの推進

- ※(9) 地域での介護予防・健康づくり事業の推進①介護予防と健康づくり事業の一体的推進、  
②通いの場の推進の記載と同じ

#### ②高齢者の地域支え合い活動

##### ●車両活動事業●

- ・利活用の促進(事業の周知) <随時> 内部評価: △

内容	実績等
座談会や情報交換会等で事業の周知	座談会で周知しているが、全自治会一斉の周知の機会はない

- ・自治会の介護予防や地域の親睦・交流機会の充実<随時> 内部評価: △

内容	実績等
利用回数の増加	利用自治会の固定化

- ・マイクロバスの更新、事業の継続等について町と協議<年度初め> 内部評価: ○

内容	実績等
協議開始	マイクロバスのリース契約は10月で終了。その後は適当な車両をレンタルして対応。

- ・目的: 高齢者の介護予防、孤立予防を図り、住み慣れた地域で暮らし続けられるようにする。

(支え合いの下地となる良好な関係づくりに寄与)

- ・内容: 自治会に対して、社協が管理する車両と運転手を貸し出す。

- ・条件: 一自治会 年4回まで

No.	期日	自治会名	内容	参加
1	5月9日(木)	北あけぼの	チューリップ見学	10人
2	5月17日(金)	下小坂	藤の花見学	9人
3	6月3日(月)	新花町	買い物	13人
4	8月5日(火)	新花町	買い物	12人
5	10月21日(月)	古苦竹	道の駅十和田湖見学	11人
6	10月24日(木)	北あけぼの	道の駅十和田湖見学	11人
7	10月25日(金)	新花町	道の駅十和田湖見学	19人
8	10月28日(月)	川通り	道の駅十和田湖見学	11人
9	10月29日(火)	藤倉団地	道の駅十和田湖見学	12人
10	10月31日(木)	中小坂	道の駅十和田湖見学	13人
11	12月18日(水)	新花町	買い物	17人
12	12月24日(火)	狐崎	買い物	7人
13	1月20日(月)	休平	買い物	4人
計		9自治会		延149人

#### ③あんしん除雪支援事業

##### ●ニーズに対応した事業の推進●

- ・軽トラック、除雪機の貸出<冬季> ※基本目標3(6)②くらしの安心サポート推進事業と同様

内容	実績等
車両・除雪機のメンテナンス実施	車両定期点検: 年1回(3月)、除雪機点検整備: 年1回(11月)

**(11) 協議体の設置**

**①生活支援コーディネーターを中心に協議体での地域の課題と解決策の協議・推進**

●地域で進める事業の成果と課題を検証●

- ・協議体における評価と課題整理<随時> 内部評価：×

内容	実績等
検証の場を開催（半期に1回）	なし

**②生活支援体制整備**

●足の確保、認知症への不安等生活課題に対する対応●

- ・町関係部局との共有と対策に向けた協議<随時> 内部評価：×

内容	実績等
会議や研修への参加	事務局レベルで、町から実態に関する情報提供と対策に向けた提案はあったが、具体的協議までは至らず。会議や研修への参加実績なし。

**【基本目標4】地域福祉を担う人や仕組みづくりの推進**

**(1) 各種ボランティアの育成**

**①ボランティア養成講座の開催**

○人材養成等の講座

- ・ボランティア養成講座の開催<適宜> 内部評価：×

内容	実績等
全町民対象（年1回）	なし

- ・小中高生向けのボランティア体験活動の実施<適宜> 内部評価：△

内容	実績等
年1回	中学生に向けては、子どもの居場所事業として行った。高校生向けとしては、大館市のボランティアグループの体験活動支援を通して実施。

<震災後復興支援ボランティア>

- ・大館市のボランティアグループ「でねが」の主催事業に協力
- ・鹿角・大館市の高校生を対象 参加高校生：28人（うち町内在住者1人）

期日	内容	場所
6月23日㊦	事前学習	大館市
7月7日㊦	事前学習	大館市
7月27日㊦～28日㊦	(荒天により内容一部変更) 高田松原を守る会の方々との座談会 東日本大震災遺構・伝承館訪問 大川小学校訪問	岩手県陸前高田市 宮城県気仙沼市 宮城県石巻市

- ・ボランティア活動の先進地視察やセミナー、講習会への参加<随時> 内部評価：×

内容	実績等
情報収集して参加（年1回）	なし

**②ボランティア活動のコーディネート**

○ボランティアセンター機能の充実・強化

- ・ボランティアセンター活動の周知<通年> 内部評価：×

内容	実績等

ホームページや機関誌での周知	周知以前に、ボランティアセンター機能について内部での共通理解を図る必要がある。
----------------	---

- ・ボランティア活動への参加促進<通年> 内部評価：△

内容	実績等
ホームページや機関誌での周知	機関誌で配食サービス事業ボランティアを募集

- ・マッチングするための仕組みづくり<年度内> 内部評価：△

内容	実績等
ボランティア活動者、ボランティア希望者等の登録状況管理のためのフォーマット作成	他社協からの情報収集にとどまる。

## (2) 福祉団体の活動支援

### ①各種団体の活動支援、加入支援、意見交換

#### ○相談窓口の周知

- ・ボランティア保険加入の窓口業務<随時> 内部評価：○

内容	実績等
安心した活動への対策	窓口業務は行っているが、相談窓口の周知を図る必要がある

#### ○活動支援

- ◆にこにこ会(知的障がい者の余暇支援グループ)の支援

日付	内容	内容	参集者
7月25日(木)	打ち合わせ	会員増加に向けた取り組みについて	会員3人、社協2人、町福祉課2人

- ◆小坂町身体障がい者協会

内容	期日	内容等	備考
役員会	R6.6.28(金)	総会について他	会長、理事2人、事務局1人
監査	R6.8.29(木)	5年度会計監査	会長(代理監査)、事務局1人
総会	R6.8.29(木)	5年度事業報告・決算 6年度計画・予算(案)	会員3人、事務局1人、町福祉課2人
県福祉大会	R6.9.20(金)	第24回心いきいき芸術文化祭併催	会員2人、事務局1人、民協会長、町福祉課1人、社協障害1人
選挙立会人	R6.10.16(水)	第50回衆議院議員総選挙 期日前投票立会人 (R6.10.16-R6.10.26)	理事1人選出
選挙立会人	R7.3.21(金)	秋田県知事選挙・小坂町長選挙 期日前投票立会人 (R7.3.21-R7.4.5)	理事1人選出

## (3) 自治会活動の支援

### ①自治会活動の支援

#### ○自治会活動への訪問活動強化

- ・居場所や自治会活動への継続支援<通年> 内部評価：△

内容	実績等
自治会へのアプローチ	中小坂自治会で「短期集中お元気パワーアップ事業」の支援

## (4) 事業者等との連絡・調整の場の確保 (令和6年度新規)

### ①行政をはじめ、福祉関係機関や事業所等との連絡・調整の場を確保

#### ○多機関との積極的な連携

- ・地域ケア会議への参加(毎月)<通年> 内部評価：○

内容	実績等

参加率の維持	複数職員が出席しているが、代理出席を含め、高い参加率を維持している。
--------	------------------------------------

- ・福祉サービスにおける担当者会議への参加<随時> 内部評価：○

内容	実績等
参加率の維持	参加を基本とし、高い参加率を維持している。

- ・町との情報交換会（毎月）<通年> 内部評価：○

内容	実績等
月1回	町福祉課との定例会議。障害と地域福祉(介護予防含む)に分かれての実施。

- ・地域貢献活動の内容の検討<上半期> 内部評価：○

内容	実績等
活動の継続	鹿角三高校の統合により小坂高校の除雪ボランティア活動が廃止となったが、新たな取り組みとして、小坂ふくしと役場、消防と共同で高齢者等宅の除雪作業を行った。

## 【基本目標5】社会福祉協議会の果たす役割及び使命達成と組織・経営基盤の強化

### (1) 社会福祉法人としての組織体制の強化

#### ①理事会・評議員会・監事会他専門委員会の開催

<正副会長会議> 場所：ゆーとりあ

回	日時	出席者	議題
1	5月29日(水) 13:30~	会長、常務理事 副会長2人	・第1回理事会、定時評議員会提出議案の確認
2	3月10日(月) 10:30~	会長、常務理事 副会長2人	・第4回理事会提出議案の確認

<理事会> 場所：ゆーとりあ

回	日時	出席者	議題
1	6月10日(月) 13:30~	理事9人 監事2人	議案第1号：令和5年度事業報告並びに決算の承認について 議案第2号：令和6年度補正(第1号)予算(案)について 議案第3号：契約職員給与規程の一部改正(案)について 議案第4号：役員選任候補者の推薦(案)について 議案第5号：令和6年度 定時評議員会の招集について
2	10月3日(木) 10:00~	理事6人 監事2人	議案第6号：認知症対応型通所介護心春運営規程の一部改正(案)について
3	1月29日(水) 13:30~	理事8人 監事2人	報告第1号：令和6年度上半期事業実施状況並びに会長及び常務理事の職務の執行状況の報告について 議案第7号：令和6年度補正(第2号)予算(案)について 議案第8号：令和6年度第2回評議員会の招集について
4	3月19日(水) 13:30~	理事7人 監事2人	議案第9号：令和6年度補正(第3号)予算(案)について 議案第10号：令和7年度事業計画(案)について 議案第11号：令和7年度収支予算(案)について 議案第12号：給与規程の一部改正(案)について 議案第13号：契約職員給与規程の一部改正(案)について 議案第14号：デイサービスゆーとりあ運営規程の一部改正(案)について 議案第15号：デイサービスゆーとりあ通所型運営規程の一部改正(案)について 議案第16号：デイサービスくるみ運営規程の一部改正(案)について

			議案第 17 号：令和 6 年度第 3 回評議員会の招集について
--	--	--	----------------------------------

<評議員会> 場所：セパーム

回	日時	出席者	議題
1	6月26日(水) 13:30~	評議員 15 人 監事 2 人	議案第 1 号：令和 5 年度事業報告並びに決算の承認について 議案第 2 号：令和 6 年度補正(第 1 号)予算(案)について 議案第 3 号：監事の選任について 報告第 1 号：契約職員給与規程の一部改正について
2	2月7日(金) 13:30~	評議員 15 人 監事 2 人	報告第 2 号：令和 6 年度上半期事業実施状況の報告について 議案第 4 号：令和 6 年度補正(第 2 号)予算(案)について
3	3月26日(水) 13:30~	評議員 13 人 監事 2 人	議案第 5 号：令和 6 年度 補正(第 3 号)予算(案)について 議案第 6 号：令和 7 年度 事業計画(案)について 議案第 7 号：令和 7 年度 収支予算(案)について 報告第 3 号：規程の一部改正について ・給与規程、契約職員給与規程、運営規程(デイサービスゆーとりあ、デイサービスゆーとりあ通所型、デイサービスくるみ)

<監事会> 会場：ゆーとりあ

回	日時	出席者	内容
1	5月27日(月) 10:00~	監事 2 人	・令和 5 年度 事業報告について ・令和 5 年度 会計収支決算について
2	11月29日(金) 9:30~	監事 2 人	・令和 6 年度 上半期事業報告について ・令和 6 年度 上半期決算について

<理事協議会> 会場：ゆーとりあ

回	日時	出席者	内容
1	10月3日(木) 10:20~	理事 6 人 監事 2 人	・案件：介護保険事業の現状と今後の見通しや事業の方向性について
2	1月29日(水) 13:55~	理事 7 人 監事 2 人	(第 1 回事業経営委員会を兼ねて開催) ・案件：①介護保険事業の運営について ②社会福祉協議会基本要項 2025(第二次案)について

<専門委員会>

・事業経営委員会 会場：ゆーとりあ

回	日時	出席者	内容
1	1月29日(水) 13:55~	委員 5 人	(理事協議会を兼ねて開催) ・案件：①介護保険事業の運営について ②社会福祉協議会基本要項 2025(第二次案)について

・地域福祉推進委員会 会場：ゆーとりあ

回	日時	出席者	内容
1	1月16日(木) 10:30~	委員 9 人	・報告：①令和 6 年度関連事業の実績について ②社会福祉協議会基本要項 2025(第二次案)について ・協議検討： テーマ～住民主体を基本とした中で、住民ニーズの把握に基づく見守りや声掛け、支援のあり方について
2	2月26日(水) 10:30~	委員 9 人	・協議検討：令和 7 年度 社会福祉協議会事業について

- ・在宅支援推進委員会 会場：ゆーとりあ

回	日時	出席者	内容
1	1月17日(金) 10:00~	委員7人	報告：①令和6年度関連事業の実績について ②社会福祉協議会基本要項2025(第二次案)について ・協議検討： テーマ～「多世代交流拠点みんなのお家だんらん」の現状と町民への周知度向上、また拠点の存在意義並びに事業の活性化について
2	2月25日(火) 10:00~	委員7人	・協議検討：令和7年度 社会福祉協議会事業について

## ②定款等諸規程の管理

### ○諸規程・規則の整理・整備

- ・法律や制度に基づき適正な時期に改正を行う<適宜> 内部評価：△

内容	実績等
専門家への相談等による整備	相談機関を利用して社会保険労務士へ相談。今後整備する。

<社会保険労務士への相談> 秋田働き方改革推進支援センターの活用

### ◆中小企業・小規模事業者等に対する個別訪問

期日	時間	来訪者	内容
5月7日(火)	13:00~	齋藤孝一氏	賃金・有期契約職員の無期転換ルールに関すること
8月28日(水)	13:30~	齋藤孝一氏	定年後再雇用規程等について

※その他適宜電話相談

## ③事業の維持・継続に向けた法人体制の強化

### ○業務継続計画の管理と実施

- ・業務継続の共通理解と対応<通年> 内部評価：△

内容	実績等
役職員間の共通理解を図る(年1回)	通所介護事業の内部研修で取り上げたが、全体としては不十分

- ・独自財源の確保に向けた検討・模索<通年> 内部評価：△

内容	実績等
社協会費ほか新たな財源確保の検討	個人レベルで遺贈やクラウドファンディングなどの話題にはなるが、検討には至っていない

## (2) 実践に向けた職員の体制づくり

### ①業務体制の見直しと実践力の強化

#### ○地域福祉計画・地域福祉活動計画の実施

- ・新規事業の見直しについて町との協議及び共通理解<上半期> 内部評価：○

内容	実績等
現状確認	方向性について共通理解を図った

- ・業務量と職員体制の充実<年度内> 内部評価：×

内容	実績等
新規職員採用	年度内の新規事業開始はなく現状維持とした

- ・必要に応じた専門的知識の習得<通年> 内部評価：△

内容	実績等
研修への参加と職員間での共有	新規事業に関する研修には積極的に参加。職員間での共有は不十分

## ②人材の確保と育成（職員採用計画の策定他）

### ○人材確保・育成の実施

- ・計画的な採用計画の策定<通年> 内部評価：×

内容	実績等
策定（案）～完成	なし

- ・キャリアアップの仕組みの再確認<上半期> 内部評価：△

内容	実績等
必要に応じて修正	管理職レベルでの修正検討まで

- ・学校訪問や説明会への参加<上半期> 内部評価：×

内容	実績等
年度早期に実施	学校訪問については昨年同様に町が調整したところ、専門学科の閉鎖や募集停止などが複数校で起きており、実施を見合わせた。

## ③生活課題解決に向けた取り組み（※令和6年度新規）

### ○生活課題の解決（移動支援他）

- ・課題の整理・選定<6～7月> 内部評価：△

内容	実績等
課題整理 6月まで	除雪の課題について：小坂高校の統廃合により小坂町は高校の除雪ボランティア活動地域外となったことを確認。

- ・解決に向けた取り組みのスケジュール<8月> 内部評価：○

内容	実績等
スケジュール作成	除雪については作成できた。 <実施>2/4(火) 13:30～

- ・進捗状況の管理<随時> 内部評価：○

内容	実績等
定期的な確認	適宜実施

## (3) 財政基盤の強化

### ①自主財源の確保・運用（会費・積立金・共同募金他）

#### ○財政基盤の健全化と強化

- ・会費：企業賛助会費増額の検討と増額依頼<下半期> 内部評価：○

内容	実績等
増額依頼 目標10企業	増額依頼企業12企業、増額いただいた企業5企業（増加額25,000円）

<社協会費>

区分	R7.3月末				(参考)前年度			
	自治会	団体等	件数	金額	自治会	団体等	件数	金額
一般会費	45		1,657件	820,100円	45		1,663件	823,400円

法人会費		3	3件	30,000円		3	3件	30,000円
個人賛助	(2)	2	40件	74,500円	(4)	1	54件	87,000円
企業賛助		46	46件	337,000円		46	46件	320,000円
団体賛助		1	1件	4,000円		1	1件	4,000円
計	45	52	1,747件	1,265,600円	45	52	1,767件	1,264,400円

※ ( ) 内は一般会費自治会数に含む

・積立金：現状維持

< 寄付金 (積立金) >

区分	上半期		下半期		年間		(参考) 前年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
一般寄付	2件	53,000円	2件	9,500円	4件	62,500円	3件	30,200円
香典返し	16件	505,000円	14件	450,000円	30件	955,000円	37件	950,000円
計	18件	558,000円	16件	459,500円	34件	1,017,500円	40件	980,200円

< 寄付金 (法人運営) >

区分	上半期		下半期		年間		(参考) 前年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
一般寄付	1件	132,769円	1件	100,000円	2件	232,769円	1件	100,000円

< 寄付金 (指定寄付) >

区分	上半期		下半期		年間		(参考) 前年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
Kitchen いちごいちえ	1件	20,000円	1件	10,000円	2件	30,000円	3件	130,428円
みんなのお家だんらん	-	26,174円	-	12,963円	-	39,137円	-	113,105円
計		46,174円		22,963円		69,137円	-	243,533円

< 物品寄付 >

寄付物品	寄付者	件数	備考
紙おむつ・パンツ・パット	個人	5件	
タオル・シート・毛布類・衣類	個人	3件	
車椅子	個人	2件	
タオル・雑巾	小坂町老人クラブ連合会	1件	

< 物品寄付 (指定寄付) >

寄付指定先	寄付物品	寄付者	件数	備考
Kitchen いちごいちえ	菓子	曹源院	2件	
	果物	曹源院	1件	
	こども新聞・中学生新聞	読売新聞・読売小坂販売所	3件	
	バター	全国農業協同組合連合会秋田県支部	1件	
	シチュールウ	江崎グリコ(株)グループ渉外部	1件	
	ぬいぐるみ他	個人	1件	
	米	(株)タナベ	1件	
	バックライス	(株)ジャパンバックライス秋田	4件	
	食器	三信化工(株)	1件	
	共同募金グッズ	小坂町共同募金委員会	1件	
	保存水	日本非常食推進機構	1件	
	野菜	(農事組合)末広ファーム	1件	
	ジュース	(株)アキレイ	1件	
	ペーパークラフトクリスマスツリー	(一社)ポケモン・ウィズ・ユ-財団	1件	

	バター	秋田県牛乳普及協会	2件	
	食料費	明治安田生命保険相互会社 秋田支社鹿角営業所	1件	
デイサービス	介護ベッド(1台) エアマット(1台)	個人	1件	固定資産計上

・共同募金配分金：現状維持

内容	実績等
現状維持	若干の減少。傾向は毎年継続。

◆小坂町共同募金委員会

内容	期日等	会場等	内容等
監査	5.10(金)	ゆーとりあ	令和5年度 事業・決算
公募によるボランティア・住民活動応援助成事業	4月～5月	－	募集
	5.20(月)	ゆーとりあ	一次審査(事務局審査)
	5.31(金)	ゆーとりあ	二次審査(委員5人) 申請:5自治会 決定:5自治会 助成総額:100,000円(20,000円×5)
	6月	－	助成金交付
市町村共同募金委員会担当職員会議	6.13(木)	秋田市	職員2人出席
第2回評議員会	8.7(水)	秋田市	会長出席
共同募金運営推進会議	8.23(金)	秋田市	事務局長出席
運営委員会	9.6(金)	ゆーとりあ	令和5年度実績及び決算報告、令和6年度予算(案)・運動計画(案)
赤い羽根共同募金説明会	9.18(水)	七滝公民館	全町対象
	9.19(金)	ゆーとりあ 川上公民館	全町対象
赤い羽根共同募金運動	10.1～12.31		
イベント募金	10.5	セパーム	まなびピア2024にて
	10.14	小坂レールパーク	鉄道まつり2024にて
	11.4	鹿角市	第147回秋田県種苗交換会にて
運営委員会	3.12	ゆーとりあ	令和7年度事業計画(案)・予算(案)について

②介護保険事業経営の安定化

○デイサービスゆーとりあの経営

- ・利用者の確保と利用率の一定水準の維持<通年> 内部評価：△

内容	実績等
定員の80%	一日平均利用者目標数20人<実績>年間18.5人 上半期19.8人 下半期17.2人

○認知症対応型デイサービス心春の経営

- ・利用者の確保と利用率の一定水準の維持<通年> 内部評価：×

内容	実績等
定員の80%	一日平均利用者目標数8人<実績>年間6人 上半期5.7人 下半期6.2人

○居宅介護支援事業所の経営

- ・利用者の確保と職員体制の再考<通年> 内部評価：○

内容	実績等
ケアマネ体制の再考	町全体の新規利用者が減少傾向。通所介護事業全体の経営状況を踏まえ次年度に向け

	て専従を3人から2人へ変更することを検討。
--	-----------------------

<通所介護事業所>

◆定員・営業日時

事業所	定員	営業	備考
ゆーとりあ	25人	月～土 9:00～16:00	
くるみ	10人	火・金 10:00～15:00	
心春	10人	月～土 9:30～15:30	認知症対応型(地域密着型)
		9:00～16:00	〃 11月から時間変更

◆令和6年9月末現在実績

		ゆーとりあ		くるみ		心春	
延営業日数		157日		52日		157日	
延利用者数		3,104人		303人		898人	
一日平均利用者数		19.8人		5.8人		5.7人	
介護サービス収入累計		29,588,099円		1,498,332円		10,570,604円	
延 人 数	要介護5	要支援2	316人	110人			
	要介護4	要支援1	488人	54人			33人
	要介護3	総合事業2	75人	42人	186人		2人
	要介護2	総合事業1	270人	35人	117人		210人
	要介護1		1,611人				654人

◆令和7年3月末現在実績

		ゆーとりあ		くるみ		心春	
延営業日数		309日		101日		309日	
(前年度)		(310日)		(138日)		(258日)	
延利用者数		5,738人		615人		1,841人	
(前年度)		(5,268人)		(823人)		(1,819人)	
一日平均利用者数		18.6人		6.1人		6人	
(前年度)		(17.0人)		(5.9人)		(7.1人)	
介護サービス収入累計		56,329,351円		3,017,750円		23,141,51円	
(前年度)		(51,412,320円)		(3,626,750円)		(21,437,598円)	
延 人 数	要介護5	要支援2	580人	225人			39人
	要介護4	要支援1	746人	143人			26人
	要介護3	総合事業2	172人	63人	144人		78人
	要介護2	総合事業1	595人	40人	168人		246人
	要介護1		2,975人				605人

<居宅介護支援事業所>

	R7.3月末	R6.9月末	(参考)R6.3月末	備考
実登録者数	73人	76人	76人	
要介護3～5	13人	18人	21人	
要介護1・2	60人	58人	55人	
実利用者数	65人	70人	72人	
要介護3～5	13人	18人	20人	
要介護1・2	52人	52人	52人	
延登録者数	909人	456人	972人	各月の実登録者の計
要介護3～5	197人	107人	294人	

要介護1・2	712人	349人	678人	
延利用者数	836人	416人	908人	請求件数と同じ
要介護3～5	181人	96人	260人	
要介護1・2	655人	320人	648人	
請求件数	836件	416件	908件	
単位数	1,251,815 単位	626,169 単位	1,358,687 単位	

### ③補助金・委託金等の確保

○地域福祉計画・地域福祉活動計画の実施

・町補助金、受託金の確保<適宜> 内部評価：○

内容	実績等
町との協議（上半期）	重層的支援体制政治事業・成年後見制度に関する事業受託について、7年度の受託はないことを確認した。
町への要望（10月頃）	例年どおりの水準確保。

・県社協受託金の確保及び活用の検討<上半期> 内部評価：○

内容	実績等
県社協事業確認	日常生活自立支援事業、生活福祉資金貸付事務を受託。他にモデル事業等による助成金制度を確認（ネットワーク、権利擁護、居場所づくり）

・県及び民間の補助金、助成金の活用検討（福祉機器等）<通年> 内部評価：○

内容	実績等
関係機関等からの情報収集	特殊浴槽購入に向け民間助成金を申請（結果は否採択）

## (4) 財務・人事管理の強化

### ①会計処理の管理と適正化

○会計処理

・会計区分の整理と適正化<通年> 内部評価：○

内容	実績等
(適切な会計処理)	事業単位での会計処理を可能とした

・消費税の対応<通年> 内部評価：○

内容	実績等
(適切な対応)	税理士への相談・確認

### ②制度改正・法改正に対応した財務・人事管理

○制度・法改正への対応

・再雇用のあり方の確認（定年延長義務化に向けて）<上半期> 内部評価：○

内容	実績等
(適切な対応)	現状継続（再雇用の継続）と内容の整理

### ③人事評価の推進

○人事評価

・全職員を対象に実施<2月> 内部評価：○

内容	実績等
全職員の実施	短時間パート職員を除く職員を対象。ほぼ全員実施。一部年度を超えて実施。

#### ④職場内外研修の強化及び資格取得支援の推進

○計画的な研修の実施及び参加

- ・職場内、職場外の研修（県内・県外含む）＜通年＞ 内部評価：○

内容	実績等
内部研修 全体1回 部門別2回 外部研修 全職員の20%	内部研修：全体1回（接遇について：伝達研修） 部門別（各通所介護事業所では毎月1回のスタッフ会議で内部研修実施） 外部研修：介護保険班10人、総務・地域福祉班9人

- ・資格取得の支援（助成金・貸付制度の見直し）＜通年＞ 内部評価：○

内容	実績等
2名程度	社会福祉主事資格取得への支援（2名）→過程修了

#### (5) 地域福祉活動計画の進行・管理

##### ①事業実践の評価（単年度）

○事業の実践

- ・職員による内部評価と専門委員会での外部評価＜上半期、1～2月＞ 内部評価：△

内容	実績等
内部評価（上半期、1月）	担当者・班長・局長での進捗状況確認
外部評価（上半期、2月）	各専門委員会に関連事業を報告

##### ②次期計画につながる総合評価

○中間期・総合評価

- ・令和8年度に中間期評価、令和11年度に総合評価を実施

##### ③小坂町福祉保健総合センターの運営・管理

○小坂町福祉保健総合センターの運営・管理

- ・センター機能の維持・管理＜通年＞ 内部評価：○

内容	実績等
計画的な修繕・修理	町の依頼により施設を点検し、計画的な修繕につなげている。エレベーター及び防災監視盤の修繕・交換を実施。
更新時期への対応	5年度からの5か年が指定管理期間

##### ◆小坂町デイサービスセンターゆーとりあの運営・管理

内容	実績等
計画的な修繕・修理	町の依頼により施設を点検し、計画的な修繕につなげている。 ＜特殊浴槽＞経年により故障が頻発していたため、町と協議して令和5年度と6年度に民間補助事業に応募。いずれも不採択となり、町の経費負担で交換した。

- ・災害時の福祉避難所としての役割・機能に関して、町担当部局との確認及び共通理解＜随時＞

内部評価：△

内容	実績等
機能の確認と環境整備（資材及び備品等含む）	定期的を実施する仕組みになっていないが、次年度実施の県防災訓練に向け役割・機能を簡単に確認した。非常用の発電機の始動点検を避難訓練時に行っている。

## ◆福祉保健総合センター「ゆーとりあ」利用状況

団体等名	内 容	使用者数
リオン補聴器	補聴器相談、補聴器調整（月1回）	上半期：6回延37人 下半期：6回延27人
北福祉事務所	自立相談支援事業巡回相談（月1回）	上半期：4回延6人 下半期：4回延6人
役場総務課	人権擁護特設相談日（12/4）	延4人
にこにこ会	クリスマスお楽しみ会（12/14）	延16人

## 【その他】

会議・事業・講習	開催日	備考
事業継続体制検討委員会	6/11、6/25、7/9、7/23、8/13、/27、 9/10、9/24（全火曜日）	会長、常務理事、事務局長、事務局次 長、班長（2人）、管理者（1人）
職場環境改善委員会	4/23、7/23、10/22、1/21（全火曜日）	通所介護、居宅、地域・総務
感染防止委員会	5/9、7/18、9/12、11/14、1/16、3/13 （全木曜日）	通所介護、居宅、障害
かようカフェ（町主催）	4/16、5/21、6/18、7/16、8/20、9/17、 10/15、11/19、12/17、1/21、2/18、3/18 （全火曜日）	認知症推進員、福祉アドバイザー、生活 支援コーディネーター
安全衛生推進者養成講習	8/22・23	秋田市 1人